



室蘭工業大学

保健管理センター一年報

—第34号—

(平成 28 年度・平成 29 年度)

室蘭工業大学保健管理センター

巻頭言

保健管理センター所長 溝口 光男

本学の保健管理センターは、学生及び教職員の健康の保持増進、病気の予防と早期発見、初期治療を目的として、1970年（昭和45年）に文部省令により厚生補導のための施設として設置されました。主な業務は健康相談、健康診断、感染症予防および日常診療でしたが、最近では、心や体の健康に関する相談、学業上の悩みや人生上の相談などのメンタルヘルスへの対応も多くなっています。

大学生は年齢的にある種の精神障害の好発時期にあたります。親元を離れ年齢的にも成人とみなされて相応の自立性を求められながら、いまだに社会の産業構造の中に組み込まれていない半人前とみなされる不安定なものであるため、さまざまな精神症状や行動上の問題が生じてきます。

2017年2月18日のYahoo!ニュースで「孤立する学生を包み込む「大学の保健室」」という記事を見ました。内容は、保健室は「フラットといける」開放性と、「ホッとできる」受容性を兼ね備えた場所で、大学にも必要である。保健管理センターは医師や看護師などのスタッフを置いていてほぼ医療的なニーズに応えるもので、養護教諭のいる保健室とは根本的に異なる。昔の子どもは地域や仲間に支えられており、何より最後は親が拠りどころになっていたが、今は逆に、親が非常に緊張する相手という子どもも多い。孤立感や自己否定感を持ったそうした若者に、昔と変わらない若者像を当てはめて同じレベルを要求するのは無理がある。そこに大人や社会が気づくべきですというものでした。

また、不登校問題調査研究協力者会議の調査によれば、2001年（平成13年）度に調査した保健室登校（常時保健室にいるか、特定の授業に出席できても学校にいる間は主として保健室にいる状態）をする者が存在する日本の学校の割合は小学校で12.3%、中学校で45.5%に達するそうです。保健室登校の主な要因として、いじめ等の心理的不安や対人関係の問題が挙げられていますが、性同一性障害や同性愛で悩んでいる児童・生徒、具体的な理由はなく何となく教室に行けなくなった、という児童・生徒もいるということです。大学進学率が50%を越えた現在、これらの児童・生徒が大学へ進学することは当たり前のことで、その対応は大学にとってとても重要となります。

学生時代は、専門知識を学ぶだけの時期ではありません。将来、成人として心身ともに健康で過ごしていくためにも、自己管理が大切な時期となります。しかし、学生にはその自覚がないことも多い。自己管理の第一歩にどのように関わるか、保健管理センターが担っている役割は大きく、今後は関連部署とのネットワークも益々必要となると考えられます。本センターの活動に対する皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

目 次

巻頭言・・・・・・・・・・・・・保健管理センター所長 溝口 光男

I. 学生の健康管理

・健康診断のフローチャート	1
・保健管理センターの活動	2
・平成28年度 定期健康診断（学部生及び大学院生）	4
・平成29年度 定期健康診断（学部生及び大学院生）	8
・定期健康診断 尿検査	12
・定期健康診断 血圧検査	13
・定期健康診断 X線検査の受診率	14
・定期健康診断時の BMI	15
・学生の喫煙率	16
・喫煙に関するアンケート調査結果	17
・生活習慣に関するアンケート調査結果	18
・平成28年度 保健管理センターの利用状況	20
・平成29年度 保健管理センターの利用状況	21
・健康診断証明書発行数	22

II. 学生相談

・学生メンタルヘルス相談	23
・カウンセリング報告	29

III. 職員の健康管理

・職員の健康診断実施状況	31
--------------	----

IV. 保健管理センター行事

・保健管理センター年間主要行事	33
・AED 講習会	34

V. 研究実績

・研究実績	35
-------	----

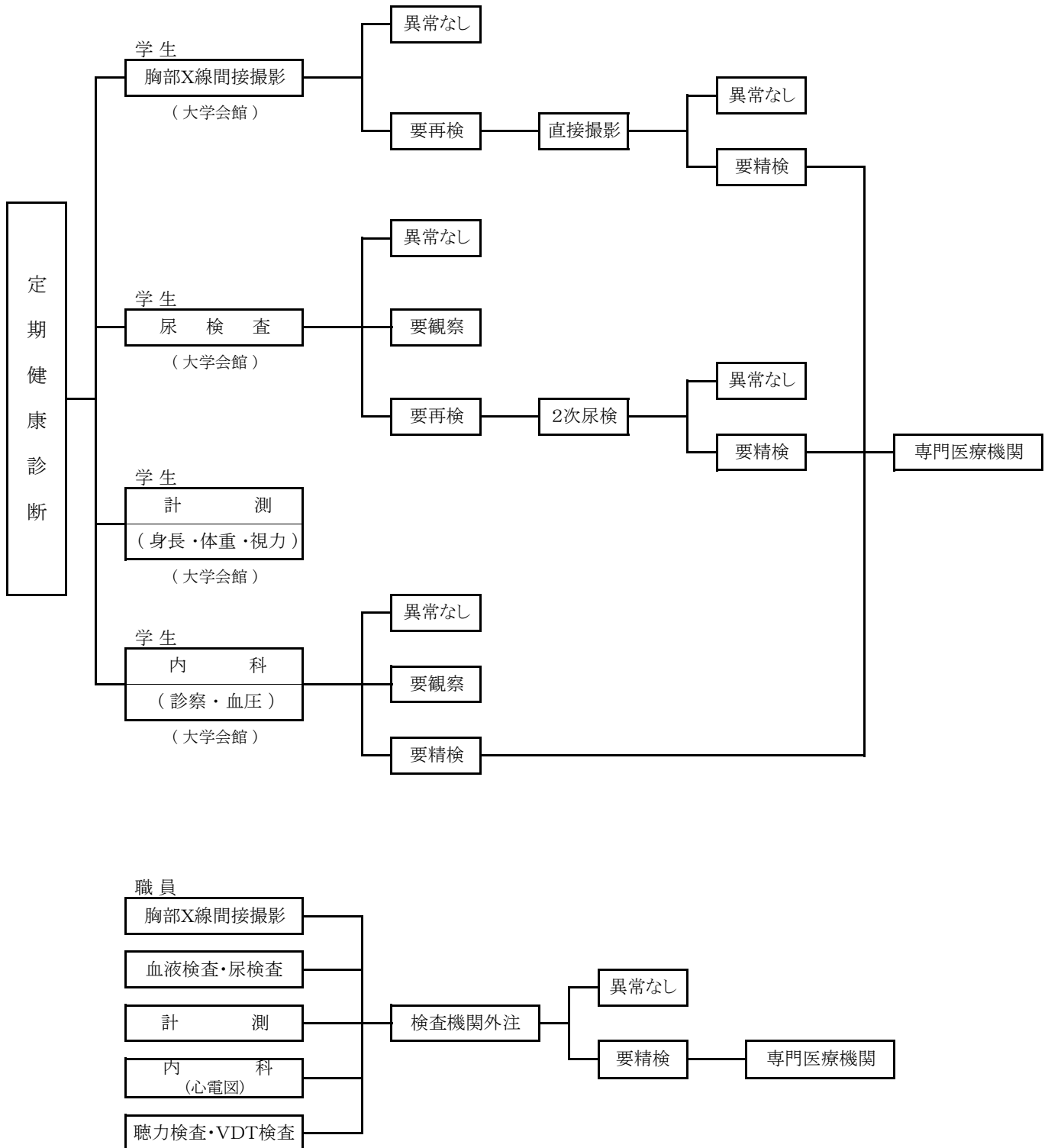
VI. 職員

・職員（平成28・29年度）	39
・保健管理センター歴代所長	40

編集後記

I . 学生の健康管理

【健康診断のフローチャート】



保健管理センターの活動

◎保健管理センターの役割

室蘭工業大学の学生数は、平成 28 年度 3365 名（昼間コース名 2563、夜間主コース 208 名、編入生 41 名、大学院生 553 名）、平成 29 年度 3334 名（昼間コース 2549 名、夜間主コース 200 名、編入生 52 名、大学院生 533 名）である。

保健管理センターには内科医師 1 名、精神科医師 1 名、非常勤カウンセラー 1 名、保健師 1 名、事務補佐員 1 名が従事している。

学生の健康管理は学校保健法に基づき、健康管理業務（各種の健康診断、健康相談、その他の業務）と保健教育が柱となっている。また教職員の健康管理は労働安全衛生法に準じている。

保健管理センターのコンセプトとしては、学生と教職員の「健康を守る拠点」として、学生には「心身の健康の自己管理の基礎を身につけ、学生生活及び社会生活の自己目標に向かって活動できるよう」、職員には「心身の疾病予防・健康の維持増進を図り、職場生活及び私生活の自己実現に向かって活動できるよう」支援したいと考えている。

そのため大学の保健管理としては、地域医療に共通する感染症予防、生活習慣病予防、メンタルヘルス、日常的診療・紹介、救急対応などから疾病の一次予防・健康増進を含む健康教育までのトータルな対応が求められている。

○学生の健康診断

<学生の健康診断内容>

学部 1 年次、大学院 1 年次（博士前期・博士後期）、編入 3 年次、留学生・研究生等

→ 胸部 X 線、計測（身長・体重）、尿検査（蛋白・糖・潜血）、血圧測定、内科検診

学部 4 年次、大学院博士前期 2 年次、大学院博士後期 3 年次

→ 胸部 X 線、計測（身長・体重）、尿検査（蛋白・糖・潜血）、血圧測定

学部 2・3 年次、大学院博士後期 2 年次

→ 胸部 X 線

その他、特別健康診断として RI 取り扱いが実施されている。

胸部 X 線撮影に関しては、結核予防法の改正を受け、平成 17 年 4 月に学校保健法施行規則第 4 条第 3 項第 4 号が形成されたため、大学生は 1 年次のみ検診することとなったが、本学では平成 24 年 4 月から新入学生以外は健康診断時の申し出により省略可能とした。

<健診方法>

大学会館にて、外部委託で 4 月の 5 日間にて実施。

＜受診率＞

全学の総合受診率は確実に増加し平成 17・18 年度は 50%台であったが 19・20 年度は 60%台、21 年度から 70%台になり、28 年度 73.6%、29 年度 73.2%と維持している。特徴的なのは、学部入学時には 90%台で各健診項目を受診しているが、2・3・4 年次になると 50～60%台に極端に減少している。大学院入学時も 90%台の受診をしているが卒業年次になると 80%前後に減少している。

○その他の平成 28 年度 29 年度の主な活動

①AED を平成 19 年 2 月に導入後、保健管理センターでは学生を主に対象として「AED を用いた心肺蘇生法」講習を年 5 回予定し実施している。平成 28 年度は 15 名、平成 29 年度は 28 名が受講した。受講者からは救急時の AED の利用への認識と意欲が得られたという感想が多かった。

②学生の VDT 障害予防として情報メディア教育センターの授業の中でレクチャーを行った。平成 20 年から 1 年生を対象に 5 月中に 4 回 VDT 障害予防レクチャーを行った。

③平成 21 年 4 月 1 日からキャンパス内全面禁煙が実施された。ニコチンパッチを用意し学生への禁煙相談・禁煙指導を行っている。教職員の禁煙相談も行った。

④救護活動として新入生オリエンテーション、北海道地区大学体育大会、オープンキャンパス、学長杯中学・高等学校柔道大会、大学入試センター試験、入学試験に参加した。

平成28年度 定期健康診断

◆学科・学年別受診状況

	留 学 生	在籍数	X線			尿 検 査		血 圧		内科検診	
			受診者数	受診率	省略者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
昼 間 コー ス 1 年											
建築社会基盤系学科	(0)	117人	115人	98.3%	0人	114人	97.4%	114人	97.4%	114人	97.4%
機械航空創造系学科	(3)	142人	138人	97.2%	0人	137人	96.5%	137人	96.5%	137人	96.5%
応用理化学系学科	(3)	139人	136人	97.8%	0人	135人	97.1%	135人	97.1%	135人	97.1%
情報電子工学系学科	(5)	185人	183人	98.9%	0人	182人	98.4%	182人	98.4%	182人	98.4%
計	(11)	583人	572人	98.1%	0人	568人	97.4%	568人	97.4%	568人	97.4%
昼 間 コー ス 2 年											
建築社会基盤系学科	(5)	119人	66人	55.5%	1人						
機械航空創造系学科	(4)	148人	98人	66.2%	5人						
応用理化学系学科	(0)	135人	76人	56.3%	6人						
情報電子工学系学科	(0)	190人	137人	72.1%	9人						
計	(9)	592人	377人	63.7%	21人	0人		5人		0人	
昼 間 コー ス 3 年											
建築社会基盤系学科	(2)	115人	100人	87.0%	0人						
機械航空創造系学科	(3)	145人	85人	58.6%	1人						
応用理化学系学科	(4)	142人	48人	33.8%	0人						
情報電子工学系学科	(4)	190人	98人	51.6%	0人						
計	(13)	592人	331人	55.9%	1人	0人		2人		0人	
昼 間 コー ス 4 年											
建築社会基盤系学科	(2)	150人	113人	75.3%	0人	113人	75.3%	113人	75.3%		
機械航空創造系学科	(9)	198人	129人	65.2%	1人	123人	62.1%	123人	62.1%		
応用理化学系学科	(3)	174人	120人	69.0%	0人	119人	68.4%	120人	69.0%		
情報電子工学系学科	(7)	274人	188人	68.6%	0人	181人	66.1%	180人	65.7%		
計	(21)	796人	550人	69.1%	1人	536人	67.3%	536人	67.3%	0人	

	留 学 生	在籍数	受診対象者数	受診率	省略率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率
			受診者数		省略者数	受診者数		受診者数		受診者数	
合計	(54)	2563人	2563人	71.4%	0.9%	1379人	80.1%	1379人	80.1%	583人	97.4%
			1830人		23人	1104人		1104人		568人	

()内の数字は留学生で内数。

平成28年度 定期健康診断

◆学科・学年別受診状況

	留学生	在籍数	X線			尿 検 査		血 圧		内科検診	
			受診者数	受診率	省略者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者	受診率
夜間主コース 1年											
機械航空創造系学科	(0)	21人	20人	95.2%	0人	20人	95.2%	20人	95.2%	20人	95.2%
情報電子工学系学科	(0)	22人	20人	90.9%	0人	20人	90.9%	20人	90.9%	20人	90.9%
計	(0)	43人	40人	93.0%	0人	40人	93.0%	40人	93.0%	40人	93.0%
夜間主コース 2年											
機械航空創造系学科	(0)	19人	16人	84.2%	0人						
情報電子工学系学科	(0)	25人	14人	56.0%	0人						
計	(0)	44人	30人	68.2%	0人	0人		0人		0人	
夜間主コース 3年											
機械航空創造系学科	(0)	24人	8人	33.3%	0人						
情報電子工学系学科	(0)	27人	12人	44.4%	0人						
計	(0)	51人	20人	39.2%	0人	0人		0人		0人	
夜間主コース 4年											
機械航空創造系学科	(0)	39人	23人	59.0%	0人	23人	59.0%	23人	59.0%		
情報電子工学系学科	(0)	30人	15人	50.0%	0人	13人	43.3%	13人	43.3%		
機械システム工学科	(0)	1人	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
計	(0)	70人	38人	54.3%	0人	36人	51.4%	36人	51.4%	0人	

	留学生	在籍数	受診対象者数	受診率	省略率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率
			受診者数		省略者数	受診者数		受診者数		受診者数	
合計	(0)	208人	208人	61.5%	0.0%	113人	67.3%	113人	67.3%	43人	93.0%
			128人		0人	76人		76人		40人	

編 入 生	留学生	在籍数	受診者数	受診率	省略者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
建築社会基盤系学科	(0)	6人	6人	100.0%	0人	6人	100.0%	6人	100.0%	6人	100.0%
機械航空創造系学科	(0)	11人	11人	100.0%	0人	11人	100.0%	11人	100.0%	11人	100.0%
応用理化学系学科	(0)	6人	6人	100.0%	0人	6人	100.0%	6人	100.0%	6人	100.0%
情報電子工学系学科	(3)	16人	16人	100.0%	0人	16人	100.0%	16人	100.0%	16人	100.0%
計	(3)	39人	39人	100.0%	0人	39人	100.0%	39人	100.0%	39人	100.0%
夜間主コース											
情報電子工学系学科	(0)	2人	1人	50.0%	0人	1人	50.0%	1人	50.0%	1人	50.0%
合計	(3)	41人	40人	97.6%	0人	40人	97.6%	40人	97.6%	40人	97.6%

()内の数字は留学生で内数。

平成28年度 定期健康診断

◆大学院専攻別受診状況

	留学生	在籍数	X 線			尿 検 査		血 圧		内科検診	
			受診者数	受診率	省略者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
大 学 院 前 期 1 年											
環境創生工学系専攻	(4)	83人	80人	96.4%	0人	79人	95.2%	79人	95.2%	79人	95.2%
生産システム工学系専攻	(6)	86人	80人	93.0%	0人	80人	93.0%	80人	93.0%	80人	93.0%
情報電子工学系専攻	(4)	74人	72人	97.3%	0人	71人	95.9%	71人	95.9%	71人	95.9%
計	(14)	243人	232人	95.5%	0人	230人	94.7%	230人	94.7%	230人	94.7%
大 学 院 前 期 2 年											
環境創生工学系専攻	(4)	71人	51人	71.8%	0人	51人	71.8%	51人	71.8%		
生産システム工学系専攻	(7)	92人	78人	84.8%	1人	78人	84.8%	78人	84.8%		
情報電子工学系専攻	(7)	75人	71人	94.7%	0人	70人	93.3%	70人	93.3%		
建築社会基盤系専攻	(0)	1人	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
機械創造工学系専攻	(0)	1人	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
計	(18)	240人	200人	83.3%	1人	199人	82.9%	199人	82.9%	0人	
大 学 院 後 期 1 年											
工 学 専 攻	(13)	18人	16人	88.9%	0人	15人	83.3%	15人	83.3%	15人	83.3%
計	(13)	18人	16人	88.9%	0人	15人	83.3%	15人	83.3%	15人	83.3%
大 学 院 後 期 2 年											
工 学 専 攻	(13)	24人	17人	70.8%	0人						
計	(13)	24人	17人	70.8%	0人	5人		7人		0人	
大 学 院 後 期 3 年											
工 学 専 攻	(4)	14人	8人	57.1%	0人	8人	57.1%	8人	57.1%		
建設環境工学専攻	(0)	1人	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
生産情報システム工学専攻	(3)	6人	3人	50.0%	0人	3人	50.0%	3人	50.0%		
物質工学専攻	(2)	3人	1人	33.3%	0人	1人	33.3%	1人	33.3%		
創成機能工学専攻	(2)	2人	1人	50.0%	1人	1人	50.0%	1人	50.0%		
建設工学専攻	(0)	2人	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
計	(11)	28人	13人	46.4%	1人	13人	46.4%	13人	46.4%	0人	

	留学生	在籍数	受診対象者数	受診率	省略率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率
			受診者数		省略者数	受診者数		受診者数		受診者数	
合計	(69)	553人	553人	86.4%	0.4%	529人	86.4%	529人	86.4%	261人	93.9%
			478人		2人	457人		457人		245人	

()内の数字は留学生で内数。

平成28年度 定期健康診断

◆受診状況合計

	在籍数	X 線		尿 検 査		血 圧		内科検診	
		受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率
昼間コース	2563人	2563人	71.4%	1379人	80.1%	1379人	80.1%	583人	97.4%
	(54)	1830人		1104人		1104人		568人	
夜間コース	208人	208人	61.5%	113人	67.3%	113人	67.3%	43人	93.0%
	(0)	128人		76人		76人		40人	
編入生	41人	41人	97.6%	41人	97.6%	41人	97.6%	41人	97.6%
	(3)	40人		40人		40人		40人	
大学院	553人	553人	86.4%	529人	86.4%	529人	86.4%	261人	93.9%
	(69)	478人		457人		457人		245人	
総合計	3365人	3365人	73.6%	2062人	81.3%	2062人	81.3%	928人	96.2%
	(126)	2476人		1677人		1677人		893人	

対象外受診者	X線	尿 検 査	血 圧	内科検診
研究生・科目等履修生	33人(16)	23人	23人	23人
その他		5人	14人	0人
合計	23人	28人	37人	23人

受診対象者一覧	X 線	尿 検 査	血 圧	内科検診
学部1年生(昼間・夜間)	○	○	○	○
大学院1年生(前期・後期)				
編入生				
学部4年生(昼間・夜間)	○	○	○	—
大学院2年生(前期)				
大学院3年生(後期)				
学部2・3年生(昼間・夜間)	○	—	—	—
大学院2年生(後期)				

()内の数字は留学生で内数。

平成29年度 定期健康診断

◆学科・学年別受診状況

	留 学 生	在籍数	X線			尿 検 査		血 圧		内科検診	
			受診者数	受診率	省略者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
昼 間 コ ー ス 1 年											
建築社会基盤系学科	(5)	115人	113人	98.3%	0人	113人	98.3%	113人	98.3%	113人	98.3%
機械航空創造系学科	(9)	152人	152人	100.0%	0人	152人	100.0%	152人	100.0%	152人	100.0%
応用理化学系学科	(4)	134人	133人	99.3%	0人	132人	98.5%	133人	99.3%	132人	98.5%
情報電子工学系学科	(4)	184人	177人	96.2%	0人	177人	96.2%	177人	96.2%	177人	96.2%
計	(22)	585人	575人	98.3%	0人	574人	98.1%	575人	98.3%	574人	98.1%
昼 間 コ ー ス 2 年											
建築社会基盤系学科	(0)	117人	74人	63.2%	1人						
機械航空創造系学科	(3)	139人	60人	43.2%	3人						
応用理化学系学科	(2)	138人	71人	51.4%	1人						
情報電子工学系学科	(5)	182人	129人	70.9%	1人						
計	(10)	576人	334人	58.0%	6人	0人		4人		0人	
昼 間 コ ー ス 3 年											
建築社会基盤系学科	(4)	116人	70人	60.3%	0人						
機械航空創造系学科	(4)	147人	98人	66.7%	0人						
応用理化学系学科	(0)	131人	51人	38.9%	3人						
情報電子工学系学科	(0)	186人	131人	70.4%	0人						
計	(8)	580人	350人	60.3%	3人	0人		14人		0人	
昼 間 コ ー ス 4 年											
建築社会基盤系学科	(3)	145人	108人	74.5%	0人	99人	68.3%	101人	69.7%		
機械航空創造系学科	(5)	199人	126人	63.3%	1人	124人	62.3%	124人	62.3%		
応用理化学系学科	(5)	195人	119人	61.0%	0人	117人	60.0%	117人	60.0%		
情報電子工学系学科	(10)	269人	171人	63.6%	0人	162人	60.2%	163人	60.6%		
計	(23)	808人	524人	64.9%	1人	502人	62.1%	505人	62.5%	1人	

	留 学 生	在籍数	受診対象者数	受診率	省略率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率
			受診者数		省略者数	受診者数		受診者数		受診者数	
合計	(63)	2549人	2549人	69.9%	0.4%	1393人	77.2%	1393人	77.5%	585人	98.1%
			1783人		10人	1076人		1080人		574人	

()内の数字は留学生で内数。

平成29年度 定期健康診断

◆学科・学年別受診状況

	留学生	在籍数	X線			尿 検 査		血 圧		内科検診	
			受診者数	受診率	省略者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者	受診率
夜間主コース 1年											
機械航空創造系学科	(0)	24人	23人	95.8%	0人	23人	95.8%	23人	95.8%	23人	95.8%
情報電子工学系学科	(0)	18人	18人	100.0%	0人	18人	100.0%	18人	100.0%	18人	100.0%
計	(0)	42人	41人	97.6%	0人	41人	97.6%	41人	97.6%	41人	97.6%
夜間主コース 2年											
機械航空創造系学科	(0)	20人	13人	65.0%	0人						
情報電子工学系学科	(0)	23人	9人	39.1%	0人						
計	(0)	43人	22人	51.2%	0人	0人		1人		0人	
夜間主コース 3年											
機械航空創造系学科	(0)	19人	16人	84.2%	0人						
情報電子工学系学科	(0)	24人	13人	54.2%	0人						
計	(0)	43人	29人	67.4%	0人	0人		0人		0人	
夜間主コース 4年											
機械航空創造系学科	(0)	36人	23人	63.9%	0人	23人	63.9%	23人	63.9%		
情報電子工学系学科	(0)	36人	23人	63.9%	0人	22人	61.1%	22人	61.1%		
計	(0)	72人	46人	63.9%	0人	45人	62.5%	45人	62.5%	0人	

	留学生	在籍数	受診対象者数	受診率	省略率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率
			受診者数		省略者数	受診者数		受診者数		受診者数	
合計	(0)	200人	200人	69.0%	0.0%	114人	75.4%	114人	75.4%	42人	97.6%
			138人		0人	86人		86人		41人	

編 入 生	留学生	在籍数	受診者数	受診率	省略者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
建築社会基盤系学科	(1)	11人	10人	90.9%	0人	10人	90.9%	10人	90.9%	10人	90.9%
機械航空創造系学科	(2)	7人	6人	85.7%	0人	6人	85.7%	6人	85.7%	6人	85.7%
応用理化学系学科	(2)	12人	11人	91.7%	0人	11人	91.7%	11人	91.7%	11人	91.7%
情報電子工学系学科	(5)	22人	22人	100.0%	0人	22人	100.0%	22人	100.0%	22人	100.0%
計	(10)	52人	49人	94.2%	0人	49人	94.2%	49人	94.2%	49人	94.2%
夜間主コース											
情報電子工学系学科	(0)	1人	1人	100.0%	0人	1人	100.0%	1人	100.0%	1人	100.0%
合計	(10)	53人	50人	94.3%	0人	50人	94.3%	50人	94.3%	50人	94.3%

()内の数字は留学生で内数。

平成29年度 定期健康診断

◆大学院専攻別受診状況

	留学生	在籍数	X 線			尿 検 査		血 圧		内科検診	
			受診者数	受診率	省略者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
大 学 院 前 期 1 年											
環境創生工学系専攻	(1)	74人	72人	97.3%	0人	72人	97.3%	72人	97.3%	72人	97.3%
生産システム工学系専攻	(3)	79人	72人	91.1%	0人	71人	89.9%	71人	89.9%	71人	89.9%
情報電子工学系専攻	(1)	62人	59人	95.2%	0人	58人	93.5%	58人	93.5%	58人	93.5%
計	(5)	215人	203人	94.4%	0人	201人	93.5%	201人	93.5%	201人	93.5%
大 学 院 前 期 2 年											
環境創生工学系専攻	(4)	85人	72人	84.7%	0人	72人	84.7%	72人	84.7%		
生産システム工学系専攻	(6)	88人	72人	81.8%	2人	73人	83.0%	73人	83.0%		
情報電子工学系専攻	(4)	75人	70人	93.3%	1人	68人	90.7%	68人	90.7%		
機械創造工学系専攻	(0)	1人	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
計	(14)	249人	214人	85.9%	3人	213人	85.5%	213人	85.5%	0人	
大 学 院 後 期 1 年											
工 学 専 攻	(13)	16人	15人	93.8%	0人	14人	87.5%	14人	87.5%	14人	87.5%
計	(13)	16人	15人	93.8%	0人	14人	87.5%	14人	87.5%	14人	87.5%
大 学 院 後 期 2 年											
工 学 専 攻	(13)	17人	16人	94.1%	0人						
計	(13)	17人	16人	94.1%	0人	0人		10人		0人	
大 学 院 後 期 3 年											
工 学 専 攻	(14)	29人	20人	69.0%	0人	19人	65.5%	19人	65.5%		
建設環境工学専攻	(0)	1人	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
生産情報システム工学専攻	(2)	4人	1人	25.0%	1人	2人	50.0%	2人	50.0%		
物質工学専攻	(1)	1人	1人	100.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
建設工学専攻	(0)	1人	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%		
計	(17)	36人	22人	61.1%	1人	21人	58.3%	21人	58.3%	0人	

	留学生	在籍数	受診対象者数	受診率	省略率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率
			受診者数		省略者数	受診者数		受診者数		受診者数	
合計	(62)	533人	533人	88.2%	0.8%	516人	87.0%	516人	87.0%	231人	93.1%
			470人		4人	449人		449人		215人	

()内の数字は留学生で内数。

平成29年度 定期健康診断

◆受診状況合計

	在籍数	X 線		尿 検 査		血 圧		内科検診	
		受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率	受診対象者数	受診率
昼間コース	2549人	2549人	69.9%	1393人	77.2%	1393人	77.5%	585人	98.1%
	(63)	1783人		1076人		1080人		574人	
夜間コース	200人	200人	69.0%	114人	75.4%	114人	75.4%	42人	97.6%
	(0)	138人		86人		86人		41人	
編入生	53人	53人	94.3%	53人	94.3%	53人	94.3%	53人	94.3%
	(10)	50人		50人		50人		50人	
大学院	533人	533人	88.2%	516人	87.0%	516人	87.0%	231人	93.1%
	(62)	470人		449人		449人		215人	
総合計	3335人	3335人	73.2%	2076人	80.0%	2076人	80.2%	911人	96.6%
	(135)	2441人		1661人		1665人		880人	

対象外受診者	X線	尿 検 査	血 圧	内科検診
研究生・科目等履修生	29人(22)	14人	15人	15人
その他		0人	29人	1人
合計	15人	14人	44人	16人

受診対象者一覧	X 線	尿 検 査	血 圧	内科検診
学部1年生(昼間・夜間)	○	○	○	○
大学院1年生(前期・後期)				
編入生				
学部4年生(昼間・夜間)	○	○	○	—
大学院2年生(前期)				
大学院3年生(後期)				
学部2・3年生(昼間・夜間)	○	—	—	—
大学院2年生(後期)				

()内の数字は留学生で内数。

定期健康診断 尿検査

《平成28年度》

	受 検 者 数	異 常 所 見 者 数	一 次 検 尿			再 検 者 数	再 検 受 診 率 %	二 次 検 尿		
			蛋 白	糖	潜 血			異 常 な し	経 過 観 察	専 門 医
学 部 1 年	568	57	23	4	34	36	63.2%	31	0	5
学 部 2 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
学 部 3 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
学 部 4 年	536	46	15	5	35	38	82.6%	34	3	1
夜 間 主 1 年	40	3	1	0	2	2	66.7%	1	1	0
夜 間 主 2 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
夜 間 主 3 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
夜 間 主 4 年	36	1	1	0	0	1	100.0%	1	0	0
編 入 生	40	1	1	0	0	1	100.0%	1	0	0
大 学 院 前 期 1 年	230	24	6	4	15	20	83.3%	19	1	0
大 学 院 前 期 2 年	199	20	6	2	16	17	85.0%	10	1	6
大 学 院 後 期 1 年	15	3	1	0	3	1	33.3%	1	0	0
大 学 院 後 期 2 年	5	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
大 学 院 後 期 3 年	13	3	0	0	3	3	100.0%	3	0	0
合 計	1,682	158	54	15	108	119	75.3%	101	6	12

研 究 生 等	23	4	1	1	2	3	75.0%	2	0	1
---------	----	---	---	---	---	---	-------	---	---	---

《平成29年度》

	受 検 者 数	異 常 所 見 者 数	一 次 検 尿			再 検 者 数	再 検 受 診 率 %	二 次 検 尿		
			蛋 白	糖	潜 血			異 常 な し	経 過 観 察	専 門 医
学 部 1 年	574	42	22	10	12	37	88.1%	35	0	2
学 部 2 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
学 部 3 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
学 部 4 年	502	27	13	8	9	20	74.1%	17	1	2
夜 間 主 1 年	41	3	2	0	1	3	100.0%	2	0	1
夜 間 主 2 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
夜 間 主 3 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
夜 間 主 4 年	45	4	3	0	1	2	50.0%	0	1	1
編 入 生	50	2	1	1	1	2	100.0%	2	0	0
大 学 院 前 期 1 年	201	5	3	1	1	3	60.0%	1	1	1
大 学 院 前 期 2 年	213	11	5	3	4	9	81.8%	4	2	3
大 学 院 後 期 1 年	14	2	0	1	1	2	100.0%	2	0	0
大 学 院 後 期 2 年	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
大 学 院 後 期 3 年	21	2	1	0	1	2	100.0%	1	0	1
合 計	1,661	98	50	24	31	80	81.6%	64	5	11

研 究 生 等	14	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
---------	----	---	---	---	---	---	------	---	---	---

定期健康診断 血圧検査

《平成28年度》

	受検者	再検の 対象者	発生率	最高血圧 140以上	最低血圧 90以上	再検者数	再検 受診率
学 部 1 年	568	12	2.1%	9	3	12	100.0%
学 部 2 年	5	0	0.0%	0	0	0	0.0%
学 部 3 年	2	0	0.0%	0	0	0	0.0%
学 部 4 年	536	13	2.4%	6	10	11	84.6%
夜 間 主 1 年	40	2	5.0%	2	1	2	100.0%
夜 間 主 2 年	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
夜 間 主 3 年	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
夜 間 主 4 年	36	0	0.0%	0	0	0	0.0%
編 入 生	39	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大 学 院 前 期 1 年	230	6	2.6%	6	4	6	100.0%
大 学 院 前 期 2 年	199	14	7.0%	9	10	9	64.3%
大 学 院 後 期 1 年	15	1	6.7%	1	0	0	0.0%
大 学 院 後 期 2 年	7	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大 学 院 後 期 3 年	13	0	0.0%	0	0	0	0.0%
合 計	1,690	48	2.8%	33	28	40	83.3%

研 究 生 等	23	1	4.3%	0	1	1	100.0%
---------	----	---	------	---	---	---	--------

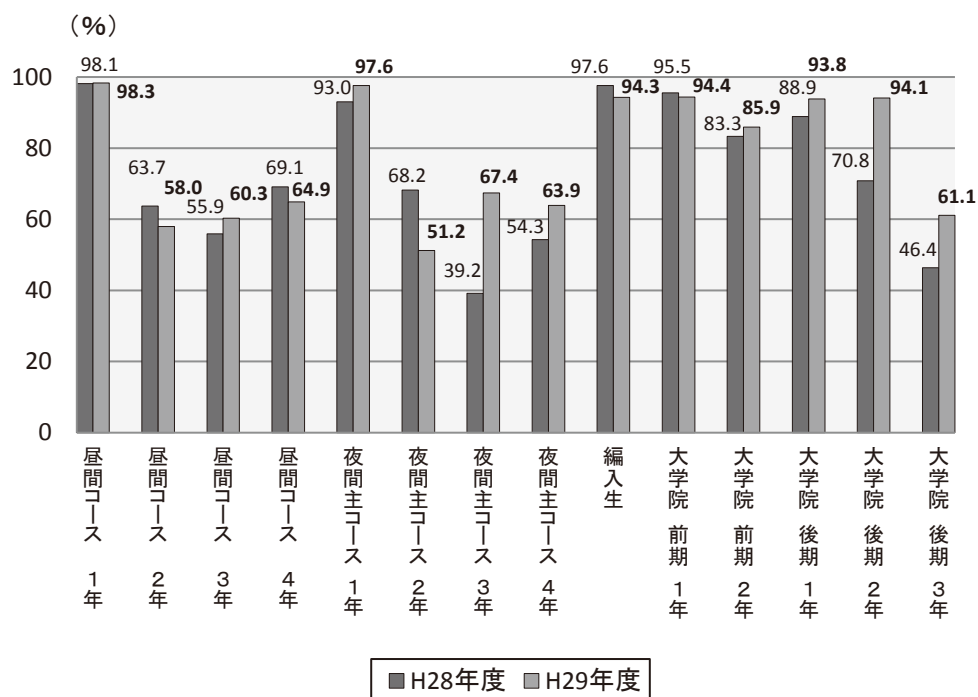
《平成29年度》

	受検者	再検の 対象者	発生率	最高血圧 140以上	最低血圧 90以上	再検者数	再検 受診率
学 部 1 年	575	8	1.4%	6	3	8	100.0%
学 部 2 年	4	0	0.0%	0	0	0	0.0%
学 部 3 年	14	0	0.0%	0	0	0	0.0%
学 部 4 年	505	25	5.0%	15	18	19	76.0%
夜 間 主 1 年	41	0	0.0%	0	0	0	0.0%
夜 間 主 2 年	1	0	0.0%	0	0	0	0.0%
夜 間 主 3 年	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
夜 間 主 4 年	45	3	6.7%	2	3	2	66.7%
編 入 生	50	1	2.0%	0	1	0	0.0%
大 学 院 前 期 1 年	201	11	5.5%	9	3	8	72.7%
大 学 院 前 期 2 年	213	10	4.7%	9	6	8	80.0%
大 学 院 後 期 1 年	14	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大 学 院 後 期 2 年	10	1	10.0%	1	1	0	0.0%
大 学 院 後 期 3 年	21	1	4.8%	1	1	1	100.0%
合 計	1,694	60	3.5%	43	36	46	76.7%

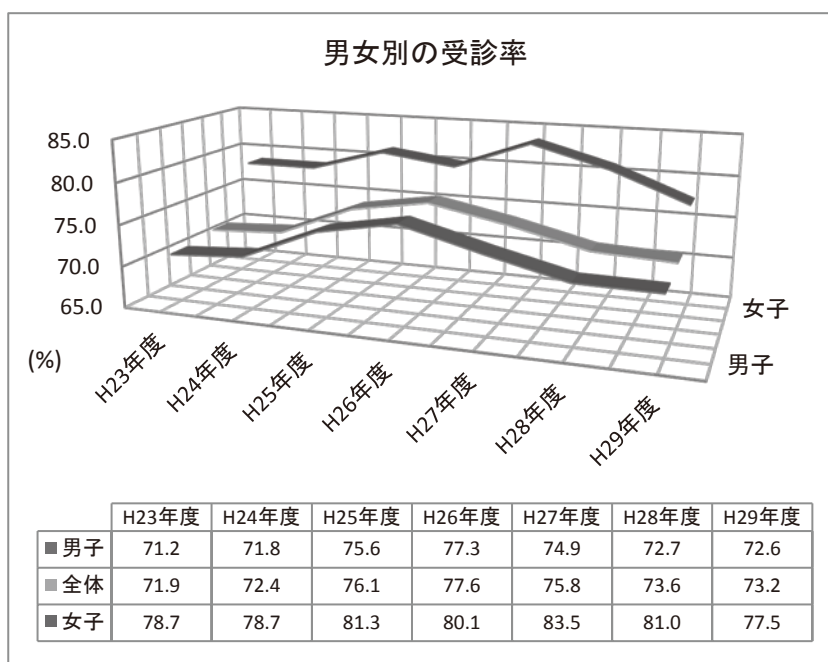
研 究 生 等	15	2	13.3%	0	2	0	0.0%
---------	----	---	-------	---	---	---	------

定期健康診断 X線検査の受診率

学年別の受診率



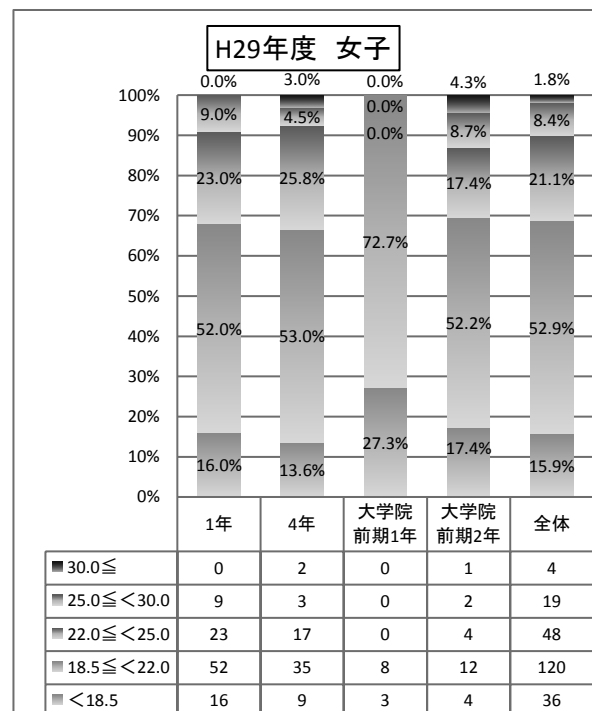
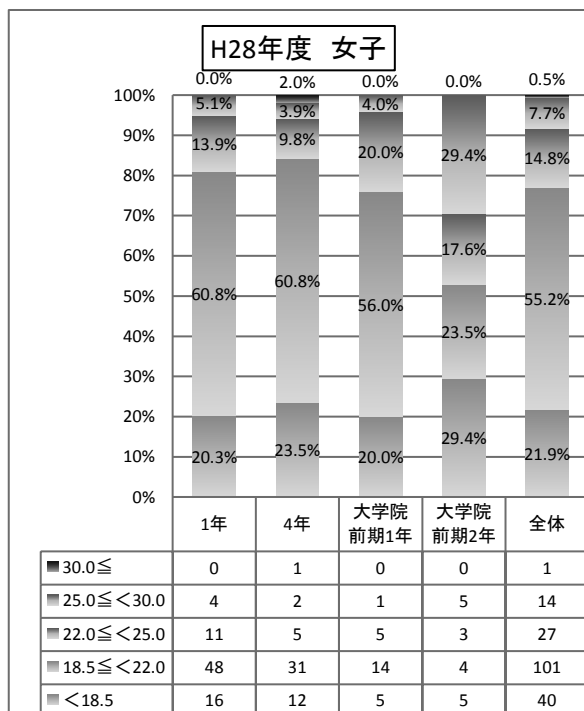
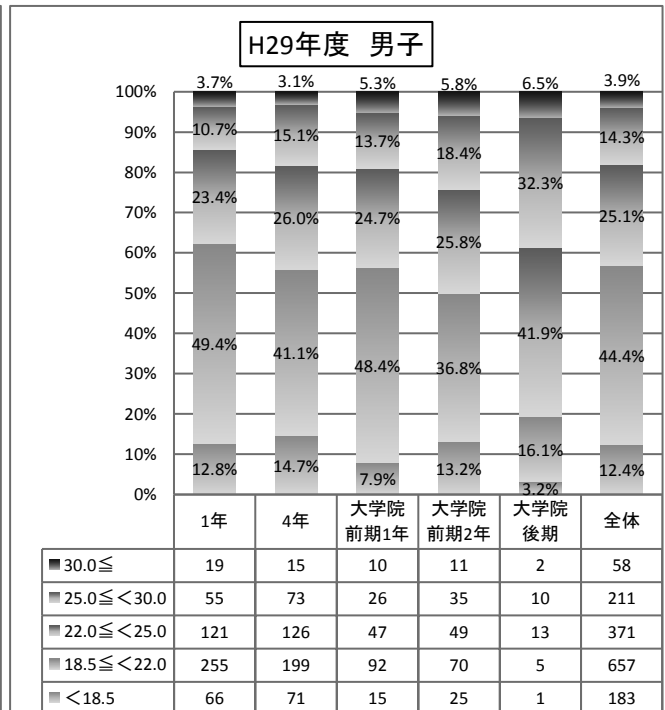
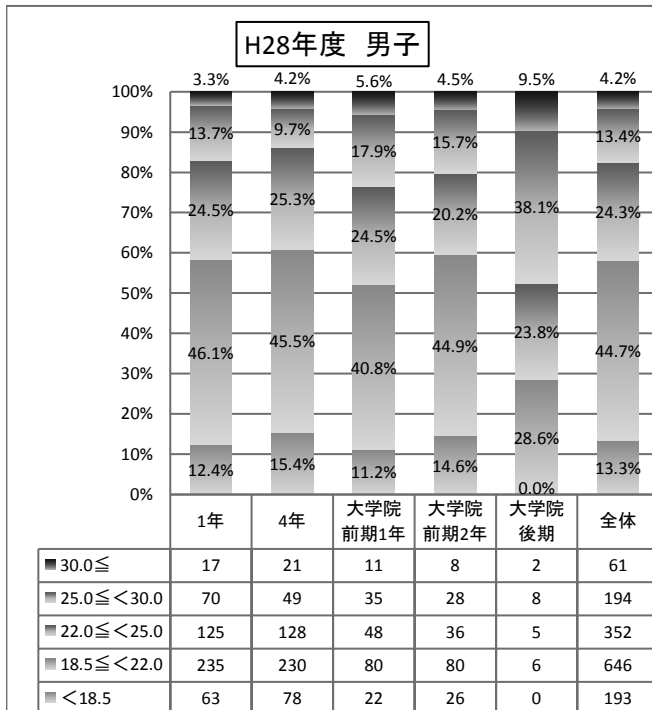
男女別の受診率



学年別の受診率では、大学院後期生の受診率が例年よりも上昇している。それ以外の学年はほぼ例年通りである。

男女別と全体の推移では、H23年度からの比較を行った。7割以上を保っている。H24年度より新入学生以外は健診時の申し出により胸部X線検査を省略可能とした。H25年度より予備日を1日設け、5月～6月に胸部X線検査のみ実施している。

定期健康診断時のBMI



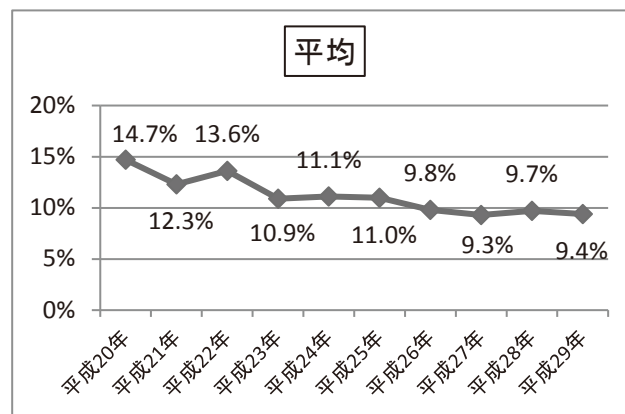
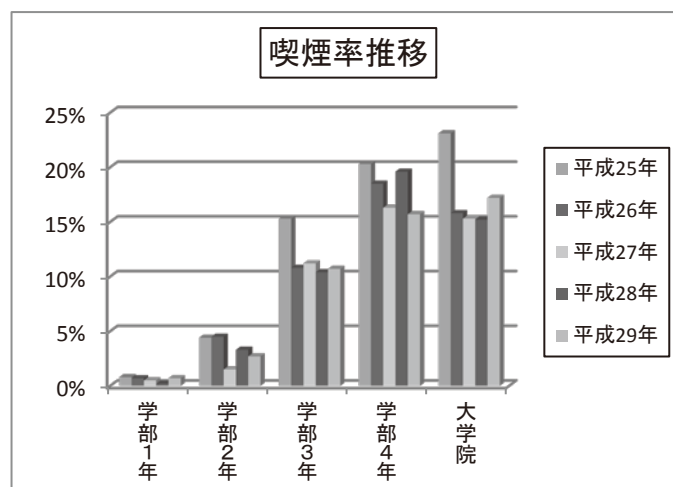
定期健康診断では、新入生(学部1年、編入3年、大学院前期・後期1年)と卒業年次生(学部4年、大学院前期2年、大学院後期3年)、研究生・科目等履修生が測定の対象になっている。

H28年度は男子1446名/女子183名、H29年度は男子1480名/女子227名が受診した。
学年別の比較では、編入3年生及び女子の大学院後期生は少数のため全体に含めた。

男子は例年同様2割程度が肥満(BMI値25以上)に分類されている。大学院後期生は肥満の割合が高い。
女子はH28年度は例年同様2割程度がやせ(BMI値18.5未満)に分類されている。H29年度はやや少ない。

学生の喫煙率

	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	大学院	平均
平成25年	0.8%	4.4%	15.3%	20.3%	23.1%	11.0%
平成26年	0.7%	4.5%	10.8%	18.5%	15.8%	9.8%
平成27年	0.5%	1.5%	11.2%	16.3%	15.3%	9.3%
平成28年	0.2%	3.3%	10.4%	19.6%	15.2%	9.7%
平成29年	0.7%	2.7%	10.7%	15.7%	17.2%	9.4%



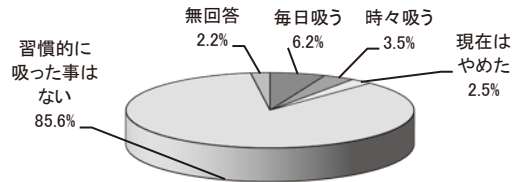
H20年度より健康診断時に“健康に関するアンケート”を実施し、喫煙状況について回答を求めている。
H21年4月より大学敷地内全面禁煙としている。

喫煙に関するアンケート調査結果

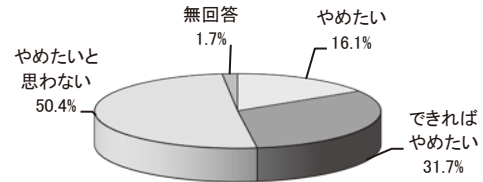
平成28年度

有効回答数:学部生1869名、院生447名、研究生等・所属不明生47名、計2363名

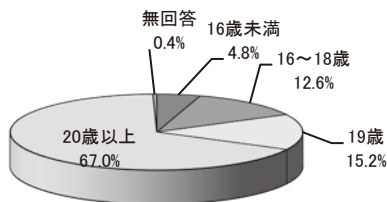
喫煙状況(2363名)



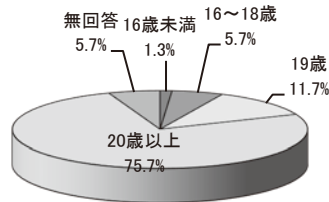
喫煙について(喫煙者230名)



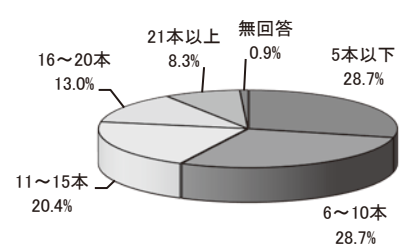
初めて吸った年(喫煙者230名)



習慣的に吸った年(喫煙者230名)



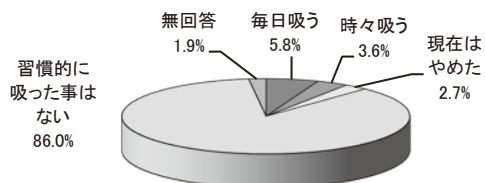
一日の本数(喫煙者230名)



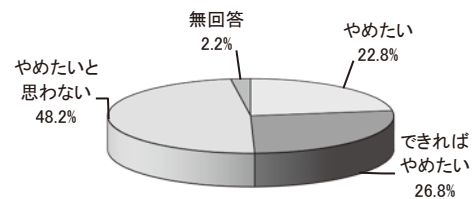
平成29年度

有効回答数:学部生1896名、院生448名、研究生等・所属不明生33名、計2377名

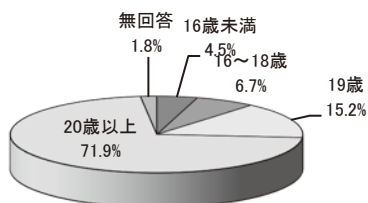
喫煙状況(2377名)



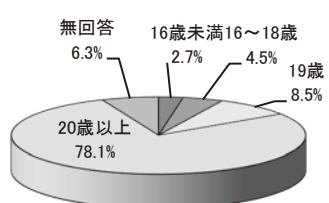
喫煙について(喫煙者224名)



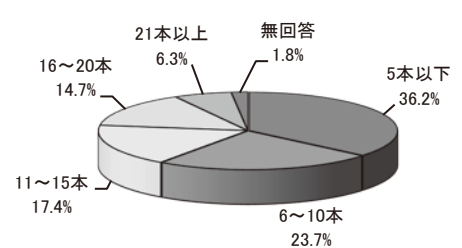
初めて吸った年(喫煙者224名)



習慣的に吸った年(喫煙者224名)



一日の本数(喫煙者224名)

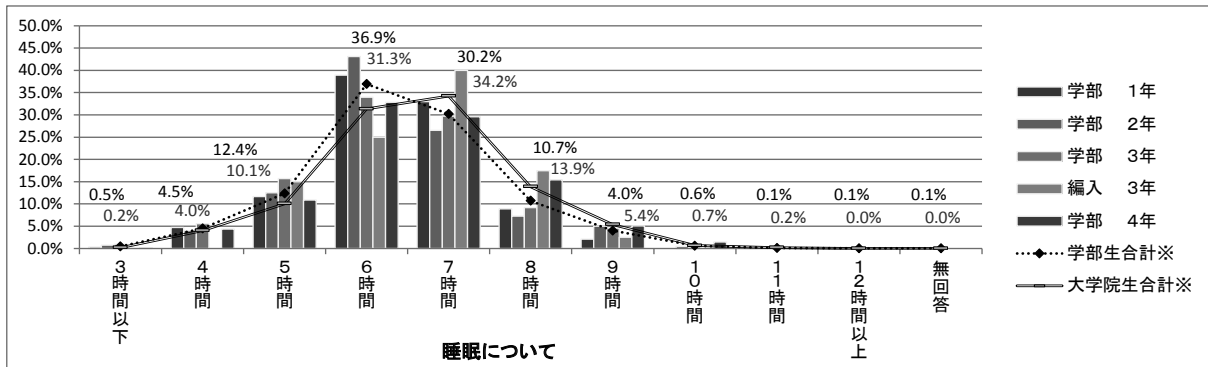


生活習慣に関するアンケート調査結果

平成28年度

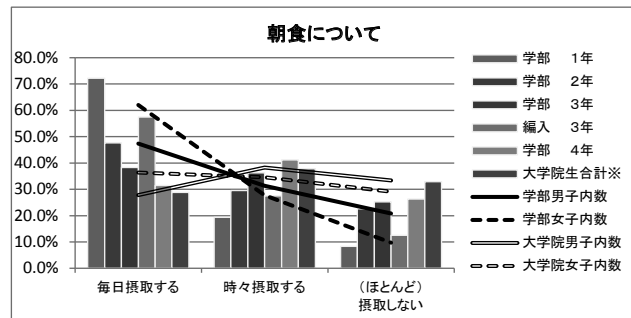
・睡眠について

	3時間以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間	11時間	12時間以上	無回答	計	平均睡眠時間
学部生合計※	9人 0.5%	84人 4.5%	231人 12.4%	690人 36.9%	565人 30.2%	200人 10.7%	75人 4.0%	11人 0.6%	2人 0.1%	1人 0.1%	1人 0.1%	1869人	6.4
学部 1 年	2人 0.3%	27人 4.7%	67人 11.7%	223人 38.9%	189人 33.0%	51人 8.9%	12人 2.1%	0人 0.0%	1人 0.2%	0人 0.0%	1人 0.2%	573人	6.3
学部 2 年	3人 0.8%	16人 4.0%	50人 12.5%	172人 43.1%	106人 26.6%	29人 7.3%	20人 5.0%	2人 0.5%	0人 0.0%	1人 0.3%	0人 0.0%	399人	6.4
学部 3 年	3人 1.0%	17人 5.6%	48人 15.7%	104人 34.0%	91人 29.7%	28人 9.2%	14人 4.6%	1人 0.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	306人	6.3
編入 3 年	0人 0.0%	0人 0.0%	6人 15.0%	10人 25.0%	16人 40.0%	7人 17.5%	1人 2.5%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	40人	6.4
学部 4 年	1人 0.2%	24人 4.4%	60人 10.9%	181人 32.8%	163人 29.6%	85人 15.4%	28人 5.1%	8人 1.5%	1人 0.2%	0人 0.0%	0人 0.0%	551人	6.5
学部男子内数	6人 0.4%	77人 4.7%	195人 11.8%	608人 36.8%	502人 30.4%	182人 11.0%	68人 4.1%	11人 0.7%	2人 0.1%	1人 0.1%	1人 0.1%	1653人	6.4
学部女子内数	3人 1.4%	7人 3.2%	36人 16.7%	82人 38.0%	63人 29.2%	18人 8.3%	7人 3.2%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	216人	6.4
大学院生合計※	1人 0.2%	4人 4.0%	35人 10.1%	140人 31.3%	153人 34.2%	62人 13.9%	24人 5.4%	3人 0.7%	1人 0.2%	0人 0.0%	0人 0.0%	447人	7.0
学部男子内数	1人 0.3%	18人 4.6%	38人 9.7%	125人 31.9%	134人 34.2%	53人 13.5%	20人 5.1%	2人 0.5%	1人 0.3%	0人 0.0%	0人 0.0%	392人	6.8
学部女子内数	0人 0.0%	0人 0.0%	7人 12.7%	15人 27.3%	19人 34.5%	9人 16.4%	4人 7.3%	1人 1.8%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	55人	7.2



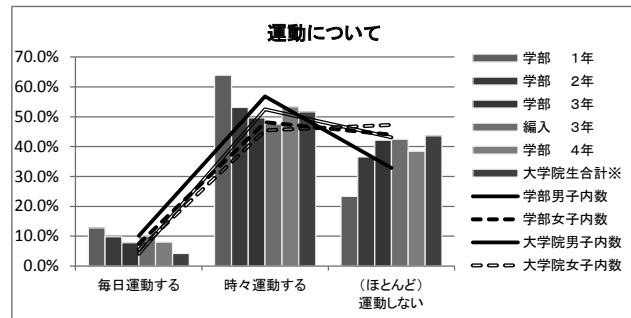
・朝食について

	毎日摂取する	時々摂取する	(ほとんど) 摂取しない	無回答	計
学部生合計※	917人 49.1%	578人 30.9%	365人 19.5%	9人 0.5%	1869人
学部 1 年	414人 72.3%	111人 19.4%	48人 8.4%	0人 0.0%	573人
学部 2 年	190人 47.6%	118人 29.6%	90人 22.6%	1人 0.3%	399人
学部 3 年	117人 38.2%	111人 36.3%	77人 25.2%	1人 0.3%	306人
編入 3 年	23人 57.5%	11人 27.5%	5人 12.5%	1人 2.5%	40人
学部 4 年	173人 31.4%	227人 41.2%	145人 26.3%	6人 1.1%	551人
学部男子内数	783人 47.4%	518人 31.3%	344人 20.8%	8人 0.5%	1653人
学部女子内数	134人 62.0%	60人 27.8%	21人 9.7%	1人 0.5%	216人
大学院生合計※	129人 28.9%	169人 37.8%	147人 32.9%	2人 0.4%	447人
学部男子内数	109人 27.8%	150人 38.3%	131人 33.4%	2人 0.5%	392人
学部女子内数	20人 36.4%	19人 34.5%	16人 29.1%	0人 0.0%	55人



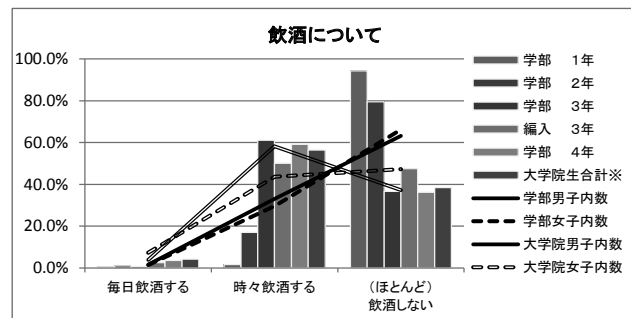
・運動について

	毎日運動する	時々運動する	(ほとんど) 運動しない	無回答	計
学部生合計※	184人 9.8%	1043人 55.8%	638人 34.1%	4人 0.2%	1869人
学部 1 年	73人 12.7%	366人 63.9%	134人 23.4%	0人 0.0%	573人
学部 2 年	39人 9.8%	212人 53.1%	146人 36.6%	2人 0.5%	399人
学部 3 年	24人 7.8%	152人 49.7%	129人 42.2%	1人 0.3%	306人
編入 3 年	4人 10.0%	19人 47.5%	17人 42.5%	0人 0.0%	40人
学部 4 年	44人 8.0%	294人 53.4%	212人 38.5%	1人 0.2%	551人
学部男子内数	168人 10.2%	939人 56.8%	543人 32.8%	3人 0.2%	1653人
学部女子内数	16人 7.4%	104人 48.1%	95人 44.0%	1人 0.5%	216人
大学院生合計※	19人 4.3%	231人 51.7%	195人 43.6%	2人 0.4%	447人
学部男子内数	16人 4.1%	206人 52.6%	169人 43.1%	1人 0.3%	392人
学部女子内数	3人 5.5%	25人 45.5%	26人 47.3%	1人 1.8%	55人



・飲酒について

	毎日飲酒する	時々飲酒する	(ほとんど) 飲酒しない	無回答	計
学部生合計※	30人 1.6%	610人 32.6%	1187人 63.5%	42人 2.2%	1869人
学部 1 年	3人 0.5%	9人 1.6%	540人 94.2%	21人 3.7%	573人
学部 2 年	4人 1.0%	68人 17.0%	317人 79.4%	10人 2.5%	399人
学部 3 年	2人 0.7%	187人 61.1%	112人 36.6%	5人 1.6%	306人
編入 3 年	1人 2.5%	20人 50.0%	19人 47.5%	0人 0.0%	40人
学部 4 年	20人 3.6%	326人 59.2%	199人 36.1%	6人 1.1%	551人
学部男子内数	27人 1.6%	546人 33.0%	1044人 63.2%	36人 2.2%	1653人
学部女子内数	3人 1.4%	64人 29.6%	143人 66.2%	6人 2.8%	216人
大学院生合計※	19人 4.3%	252人 56.4%	172人 38.5%	4人 0.9%	447人
学部男子内数	15人 3.8%	228人 58.2%	146人 37.2%	3人 0.8%	392人
学部女子内数	4人 7.3%	24人 43.6%	26人 47.3%	1人 1.8%	55人

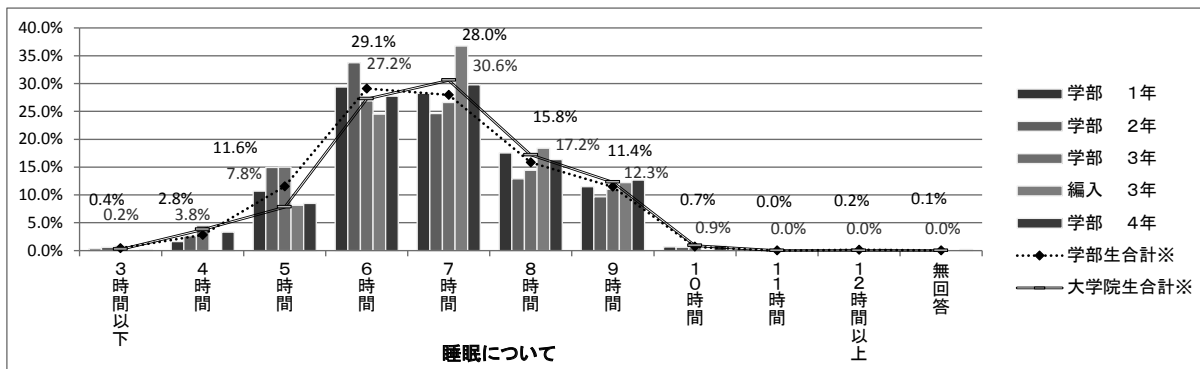


生活習慣に関するアンケート調査結果

平成29年度

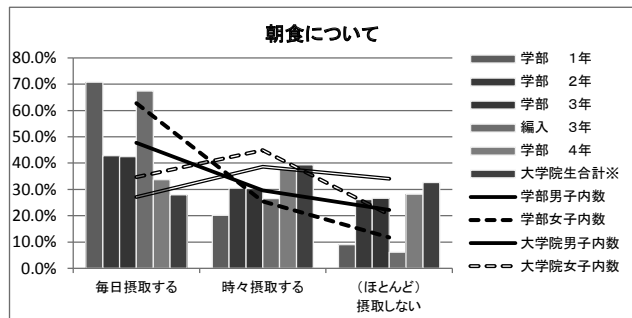
・睡眠について

	3時間以下		4時間		5時間		6時間		7時間		8時間		9時間		10時間		11時間		12時間以上		無回答	計	平均睡眠時間	
学部生合計※	8人	0.4%	53人	2.8%	219人	11.6%	552人	29.1%	530人	28.0%	300人	15.8%	217人	11.4%	13人	0.7%	0人	0.0%	3人	0.2%	1人	0.1%	1896人	6.7
学部 1 年	2人	0.3%	10人	1.6%	65人	10.7%	179人	29.4%	172人	28.2%	107人	17.6%	70人	11.5%	4人	0.7%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	609人	6.8
学部 2 年	2人	0.6%	9人	2.6%	51人	15.0%	115人	33.7%	84人	24.6%	44人	12.9%	33人	9.7%	2人	0.6%	0人	0.0%	1人	0.3%	0人	0.0%	341人	6.6
学部 3 年	3人	0.8%	16人	4.5%	53人	15.0%	95人	26.9%	94人	26.6%	51人	14.4%	39人	11.0%	2人	0.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	353人	6.6
編入 3 年	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	8.2%	12人	24.5%	18人	36.7%	9人	18.4%	6人	12.2%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	49人	6.5
学部 4 年	1人	0.2%	18人	3.3%	46人	8.5%	151人	27.8%	162人	29.8%	89人	16.4%	69人	12.7%	5人	0.9%	0人	0.0%	2人	0.4%	1人	0.2%	544人	7.0
男子内数	7人	0.4%	47人	2.9%	184人	11.2%	479人	29.2%	462人	28.2%	271人	16.5%	177人	10.8%	10人	0.6%	0人	0.0%	3人	0.2%	1人	0.1%	1641人	6.7
女子内数	1人	0.4%	6人	2.4%	35人	13.7%	73人	28.6%	68人	26.7%	29人	11.4%	40人	15.7%	3人	1.2%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	255人	6.7
大学院生合計※	1人	0.2%	17人	3.8%	35人	7.8%	122人	27.2%	137人	30.6%	77人	17.2%	55人	12.3%	4人	0.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	448人	7.1
男子内数	0人	0.0%	15人	3.6%	32人	8.0%	115人	28.8%	119人	29.6%	67人	16.8%	47人	11.8%	4人	1.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	399人	7.2
女子内数	1人	2.0%	2人	4.1%	3人	6.1%	7人	14.3%	18人	36.7%	10人	20.4%	8人	16.3%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	49人	7.0



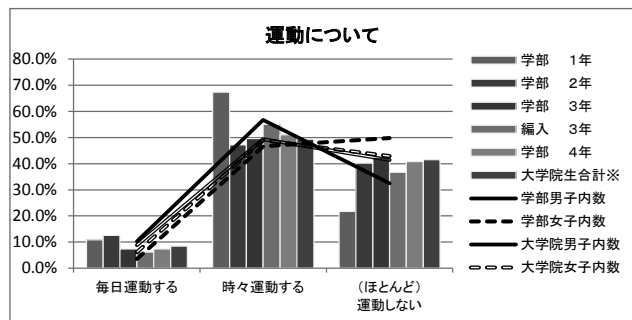
・朝食について

	毎日摂取する		時々摂取する		(ほとんど) 摂取しない		無回答		計
学部生合計※	943人	49.7%	552人	29.1%	394人	20.8%	7人	0.4%	1896人
学部 1 年	431人	70.8%	123人	20.2%	55人	9.0%	0人	0.0%	609人
学部 2 年	146人	42.8%	104人	30.5%	89人	26.1%	2人	0.6%	341人
学部 3 年	150人	42.5%	107人	30.3%	94人	26.6%	2人	0.6%	353人
編入 3 年	33人	67.3%	13人	26.5%	3人	6.1%	0人	0.0%	49人
学部 4 年	183人	33.6%	205人	37.7%	153人	28.1%	3人	0.6%	544人
男子内数	783人	47.7%	487人	29.7%	364人	22.2%	7人	0.4%	1641人
女子内数	160人	62.7%	65人	25.5%	30人	11.8%	0人	0.0%	255人
大学院生合計※	125人	27.9%	176人	39.3%	146人	32.6%	1人	0.2%	448人
大学男子内数	108人	27.1%	154人	38.6%	136人	34.1%	1人	0.3%	399人
大学女子内数	17人	34.7%	22人	44.9%	10人	20.4%	0人	0.0%	49人



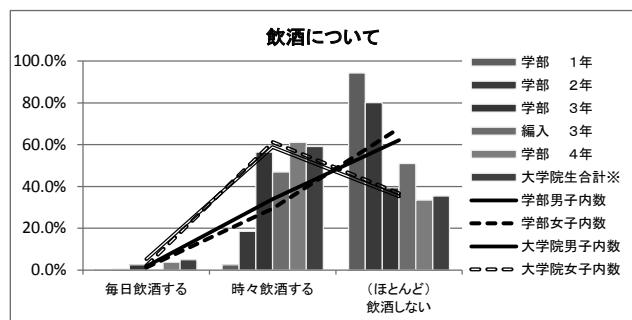
・運動について

	毎日運動する		時々運動する		(ほとんど) 運動しない		無回答		計
学部生合計※	178人	9.4%	1051人	55.4%	659人	34.8%	8人	0.4%	1896人
学 部 1 年	66人	10.8%	410人	67.3%	132人	21.7%	1人	0.2%	609人
学 部 2 年	43人	12.6%	161人	47.2%	137人	40.2%	0人	0.0%	341人
学 部 3 年	26人	7.4%	175人	49.6%	150人	42.5%	2人	0.6%	353人
編入 3 年	3人	6.1%	27人	55.1%	18人	36.7%	1人	2.0%	49人
学部 4 年	40人	7.4%	278人	51.1%	222人	40.8%	4人	0.7%	544人
男子内数	169人	10.3%	932人	56.8%	532人	32.4%	8人	0.5%	1641人
女子内数	9人	3.5%	119人	46.7%	127人	49.8%	0人	0.0%	255人
大学院生合計※	38人	8.5%	221人	49.3%	186人	41.5%	3人	0.7%	448人
大学男子内数	35人	8.8%	197人	49.4%	165人	41.4%	2人	0.5%	399人
大学女子内数	3人	6.1%	24人	49.0%	21人	42.9%	1人	2.0%	49人



・飲酒について

	毎日飲酒する	時々飲酒する	(ほとんど) 飲酒しない	無回答	計
学部生合計※	32人 1.7%	632人 33.3%	1193人 62.9%	39人 2.1%	1896人
学部 1 年	1人 0.2%	15人 2.5%	574人 94.3%	19人 3.1%	609人
学部 2 年	2人 0.6%	63人 18.5%	273人 80.1%	3人 0.9%	341人
学部 3 年	9人 2.5%	199人 56.4%	139人 39.4%	6人 1.7%	353人
編入 3 年	0人 0.0%	23人 46.9%	25人 51.0%	1人 2.0%	49人
学部 4 年	20人 3.7%	332人 61.0%	182人 33.5%	10人 1.8%	544人
学部男子内数	29人 1.8%	557人 33.9%	1020人 62.2%	35人 2.1%	1641人
学部女子内数	3人 1.2%	75人 29.4%	173人 67.8%	4人 1.6%	255人
大学院生合計※	22人 4.9%	265人 59.2%	159人 35.5%	2人 0.4%	448人
大学院男子内数	21人 5.3%	235人 58.9%	141人 35.3%	2人 0.5%	399人
大学院女子内数	1人 2.0%	30人 61.2%	18人 38.7%	0人 0.0%	49人



平成28年度 保健管理センター 利用状況

学 生

()内の数字は、留学生利用数で内数。

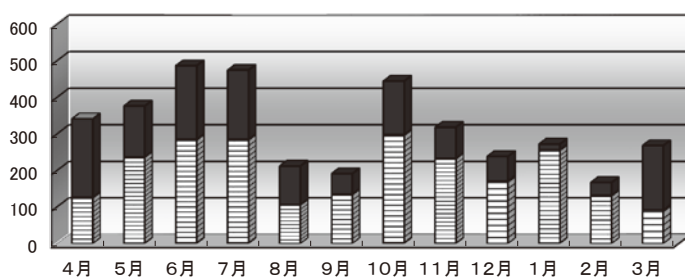
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診者数	内科系	55 (2)	106 (10)	154 (10)	94 (7)	31 (1)	32 (1)	125 (2)	66 (2)	69 (7)	96 (1)	41 (3)	35 (4)	904 (50)
	外科系	14 (3)	41 (2)	26 (2)	50 (2)	17 (2)	27 (1)	35 (3)	40 (2)	19 (2)	24 (0)	10 (0)	6 (0)	309 (19)
	その他	5 (0)	14 (0)	9 (0)	6 (1)	2 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	43 (1)
	紹介、案内	25 (0)	23 (3)	28 (4)	30 (2)	11 (3)	20 (1)	25 (2)	27 (3)	24 (3)	47 (2)	10 (2)	9 (1)	279 (26)
	健康相談	1 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)
	特別健康診断	0 (0)	19 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	24 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (1)	1 (0)	68 (5)
	メンタルヘルス相談	22 (1)	26 (0)	48 (0)	93 (0)	39 (0)	41 (0)	69 (1)	79 (1)	37 (0)	70 (0)	35 (0)	34 (0)	593 (3)
	カウンセリング	5 (0)	8 (0)	17 (0)	13 (0)	7 (0)	15 (0)	15 (0)	22 (0)	22 (0)	19 (0)	15 (0)	6 (0)	164 (0)
	合計	127 (6)	238 (15)	286 (16)	286 (12)	107 (6)	136 (3)	299 (12)	234 (8)	172 (12)	257 (3)	133 (6)	92 (5)	2367 (104)
検査件数	身長、体重	54	29	34	54	27	15	40	25	19	2	7	42	348
	血圧	50	26	41	21	14	11	28	12	14	8	11	44	280
	視力	43	16	5	10	4	3	17	7	6	0	7	38	156
	尿検査	42	16	69	18	5	4	6	0	4	2	5	42	213
	体脂肪	6	17	18	30	22	7	17	15	10	1	1	6	150
	内臓脂肪	6	17	18	30	22	7	17	15	10	1	1	2	146
	握力	14	18	16	26	12	9	21	11	4	2	3	3	139
	合計	215	139	201	189	106	56	146	85	67	16	35	177	1432

職 員

メンタルヘルス相談者数	6	2	3	2	2	8	5	5	8	17	12	19	89
健康相談者数	4	4	4	5	8	1	2	9	6	4	6	4	57

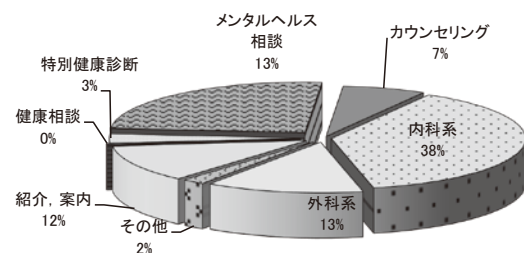
学生の利用状況

(件数)



■検査件数 □受診者数

受診項目率



※グラフに職員の利用数は含まず。

平成29年度 保健管理センター 利用状況

学 生

()内の数字は、留学生利用数で内数。

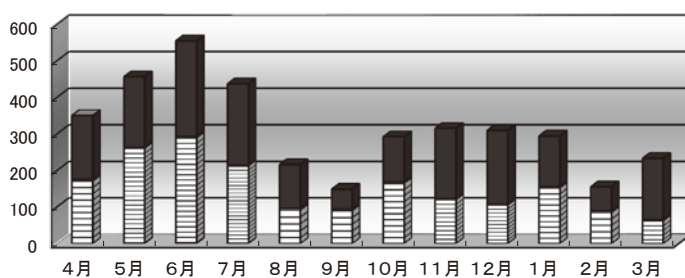
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受診者数	内科系	96 (5)	102 (3)	155 (9)	96 (1)	45 (4)	26 (3)	93 (4)	57 (6)	49 (1)	85 (4)	31 (0)	33 (2)	868 (42)
	外科系	12 (2)	29 (2)	37 (5)	35 (3)	13 (3)	19 (3)	16 (2)	24 (7)	17 (5)	17 (2)	6 (0)	2 (0)	227 (34)
	その他	2 (0)	7 (0)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	23 (0)
	紹介, 案内	33 (3)	37 (2)	34 (3)	19 (3)	6 (0)	9 (0)	18 (1)	8 (1)	13 (0)	23 (5)	19 (0)	7 (1)	226 (19)
	健康相談	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	0 (0)	1 (0)	7 (1)
	特別健康診断	0 (0)	35 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (6)
	メンタルヘルス相談	28 (0)	41 (0)	54 (0)	51 (0)	24 (0)	31 (0)	26 (0)	23 (0)	17 (0)	14 (0)	19 (0)	15 (0)	343 (0)
	カウンセリング	4 (0)	12 (0)	7 (0)	13 (0)	9 (0)	9 (0)	13 (0)	8 (0)	11 (0)	14 (0)	14 (0)	7 (0)	121 (0)
	合計	176 (10)	264 (13)	293 (17)	215 (7)	97 (7)	95 (6)	169 (7)	123 (14)	108 (6)	156 (12)	90 (0)	65 (3)	1851 (102)
検査件数	身長, 体重	48	42	67	51	34	23	33	54	52	39	18	41	502
	血圧	36	52	46	38	21	12	23	46	37	38	21	43	413
	視力	42	22	23	19	12	4	18	34	15	14	12	37	252
	尿検査	41	24	28	30	2	2	3	34	11	13	6	35	229
	体脂肪	2	20	43	36	23	7	20	11	36	17	4	3	222
	内臓脂肪	1	20	21	22	19	0	15	2	27	7	2	1	137
	握力	5	13	34	27	9	6	12	12	24	11	3	9	165
	合計	175	193	262	223	120	54	124	193	202	139	66	169	1920

職 員

メンタルヘルス 相談者数	7	18	10	12	14	16	19	23	22	16	15	22	194
健康相談者数	0	1	2	0	2	0	4	2	2	2	2	1	18

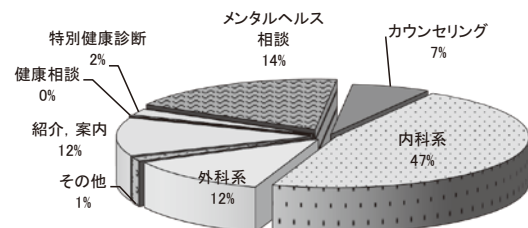
学生の利用状況

(件数)



■検査件数 □受診者数

受診項目率

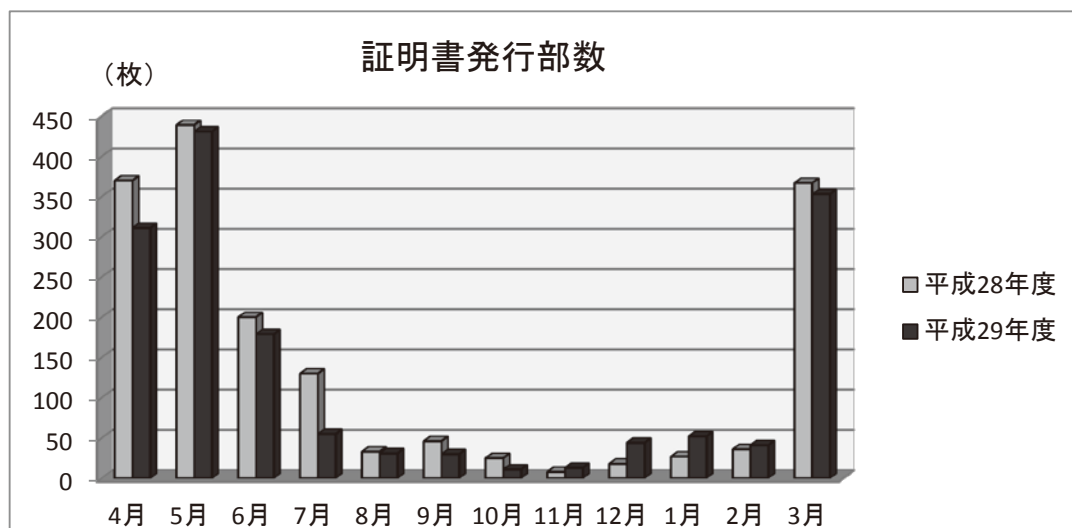


※グラフに職員の利用数は含まず。

健康診断証明書発行数

()内の数字は、留学生利用数で内数。

	就職用				進学用				その他				合計 (月)			
	28年度		29年度		28年度		29年度		28年度		29年度		平成28年度		平成29年度	
	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数	件数
4月	365	125	306	100	0	0	0	0	5	4	5	5	370	129	311	105
	(4)	(12)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(5)	(13)	(1)	(1)
5月	434	164	425	181	2	1	3	1	3	3	3	3	439	168	431	185
	(22)	(7)	(13)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(3)	(1)	(1)	(25)	(10)	(14)	(3)
6月	194	91	158	67	0	0	11	2	6	6	10	10	200	97	179	79
	(11)	(2)	(14)	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(6)	(6)	(12)	(3)	(20)	(10)
7月	122	50	53	25	0	0	0	0	8	7	2	2	130	57	55	27
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
8月	33	20	28	18	0	0	0	0	0	0	3	3	33	20	31	21
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
9月	46	27	30	16	0	0	0	0	0	0	0	0	46	27	30	16
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
10月	25	12	11	9	0	0	0	0	0	0	0	0	25	12	11	9
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
11月	8	6	12	7	0	0	0	0	0	0	1	1	8	6	13	8
	(3)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(2)	(0)	(0)
12月	8	5	14	10	0	0	0	0	10	7	30	14	18	12	44	24
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(9)	(6)	(29)	(13)	(9)	(6)	(29)	(13)
1月	26	8	52	15	0	0	0	0	1	1	0	0	27	9	52	15
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2月	36	17	39	18	0	0	0	0	0	0	2	2	36	17	41	20
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
3月	366	110	353	98	0	0	0	0	1	1	0	0	367	111	353	98
	(8)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(8)	(1)	(0)	(0)
合計(年)	1663	635	1481	564	2	1	14	3	34	29	56	40	1699	665	1551	607
	(48)	(24)	(27)	(6)	(0)	(0)	(0)	(0)	(14)	(11)	(37)	(21)	(62)	(35)	(64)	(27)



Ⅱ． 学生相談

学生メンタルヘルス相談

平成 28 年度と平成 29 年度のメンタルヘルス活動の内容と、その実績を報告する。

(1) 学生のメンタルヘルスに関するスクリーニングについて

平成 28 年度および平成 29 年度のいずれにおいても、4 月の学生健康診断時に Patient Health Questionnaire - 9 (PHQ-9) 質問票を施行し、学生のメンタルヘルスに関するスクリーニングを行った。

表 1 PHQ-9 質問票 最近 2 週間における各症状の頻度を 0～3 点で評価する

No.	質問
1	物事に対してほとんど興味が無い、または楽しめない。
2	気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる。
3	寝つきが悪い、途中で目が覚める、または逆に眠り過ぎる。
4	疲れた感じがする、または気力がない。
5	あまり食欲がない、または食べ過ぎる。
6	自分はダメな人間だ、人生の敗北者だと気に病む、または、自分自身あるいは家族に申し訳ないと感じる。
7	新聞を読む、またはテレビを見ることなどに集中することが難しい。
8	他人が気づくぐらいに動きや話し方が遅くなる、あるいはこれと反対に、そわそわしたり、落ち着かず、ふだんよりも動き回ることがある。
9	死んだほうがまだ、あるいは自分を何らかの方法で傷つけようと思ったことがある。

平成 28 年度および平成 29 年度に学生健康診断で施行した PHQ-9 質問票（表 1）は、うつ病のスクリーニング検査であり、最近 2 週間における各症状の頻度を以下のように点数をつけて評価した（全くない—0、数日—1、半分以上—2、ほとんど毎日—3）。その上で、①合計 27 点満点中 15 点以上の者、②合計 14 点以下だが希死念慮（No.9）がこの 2 週間で半分以上の者、のいずれかの基準を満たした学生を当センターに呼出した。対象者には GHQ60 を施行した上で精神科医が面接を行い、相談者に精神疾患が認められた場合には ICD-10 に基づいて診断を行った。

平成 28 年度の PHQ-9 調査においては、在籍学生総数 3365 名中 2387 名（71%）から回答を得た。そのうち、上記①および②のいずれかの呼出し基準を満たした学生は 91 名（3.8%）であり、呼出しの結果 56 名（62%）がセンターに来所した。精神科医による面接の結果、何らかの精神疾患の病名がつくか疑われる者は 13 名で、そのうち 9 名は既に当センターにて相談フォローを受けていたが、残りの 4 名についても全員に医師による面接を継続もしくはカウンセリングを導入したが、

専門医に紹介した者はいなかった。呼出し面接に応じた学生のうちの過半数（31名；55%）は、その一部に対人コミュニケーションに苦手意識をもつ者はいたが、いずれも正常範囲または適応良好と判断され、発達障害が疑われる者もいなかった。

平成29年度のPHQ-9調査においては、在籍学生総数3381名中2377名（70%）から回答を得た。そのうち、上記①および②のいずれかの呼出し基準を満たした学生は71名（3.0%）であり、呼出しの結果43名（61%）がセンターに来所した。精神科医による面接の結果、何らかの精神疾患の病名がつくか疑われる者は1名だけであり、その1名については医師による面接を継続したが、専門医には紹介しなかった。呼出し面接に応じた学生のうちの大多数（38名；88%）は、その一部に対人コミュニケーションに苦手意識をもつ者はいたが、いずれも正常範囲または適応良好と判断され、発達障害が疑われる者もいなかった。

（2） 学生メンタルヘルス相談

表2は、平成28年4月から平成29年3月までの間で、健康診断時のスクリーニングによる呼出しを除いて、メンタルヘルス相談目的で来所した学生について、その相談内容と取扱件数および実人数を示している。メンタルヘルス相談の取扱件数（実人数）は、平成28年度は585件（140人）、平成29年度は343件（75人）であり、平成26年度が273件（92人）、平成27年度が358件（52人）だったのと比較すると、取扱件数および実人数ともに増加傾向にある。ただし、取扱件数および実人数ともに年度によってかなりばらつく傾向があり、この傾向は「A.就学環境・履修に関する相談」の件数の変動を反映していると考えられる。この区分の相談は発達障害学生の修学支援に関連したものであることが多く、平成28年度に急増していることから、同年4月から障害者差別解消法が施行されたことによる影響も考えられる。

表2 メンタルヘルス相談件数

	取扱件数（実人数）	
	平成28年度	平成29年度
A.就学環境・履修に関する相談	407（73）	146（35）
B.進路相談	11（1）	1（1）
C.身体的健康相談	10（1）	41（8）
D.精神的健康相談	157（65）	155（31）
計	585（140）	343（75）

相談後の対応としては、医師による継続面接、指導教官への連絡・就学環境の調整依頼、カウンセラーによる心理検査・心理療法、学外医療機関への紹介など、疾患や病態に応じて臨機応変に行

った。今後もこうした臨機応変な対応を継続していく方針である。

(3) メンタルヘルス相談学生の ICD-10 診断

平成 28 年度および平成 29 年度（平成 28 年 4 月から平成 30 年 3 月まで）にメンタルヘルス相談に訪れた計 187 名の学生の ICD-10 診断を表 3 に示す。診断分類としては、「ICD-10 コードなし」が最多の 46%を占めていたが、そのほとんどは「身近な教員や学生との軽度の対人トラブル」と「正常範囲内の自身の性格についての悩み」に関する相談であった。その一方で、アルコール依存症や睡眠相後退症候群の診断閾値下にある「不適切な飲酒習慣」や「生活リズムの乱れ」を認めた学生も散見された。次いで、適応障害と不安障害を中心とした神経症圏（F4）が 26%、自閉スペクトラム症や ADHD などの発達障害（F8 および F9）が 14%と続くが、一般の精神科医療の現場で最多の 30%を占める気分障害圏（F3）については 5.3%にとどまっていた。発達障害と診断される学生は近年増加傾向にあるが、ここには、障害者差別解消法の施行など、発達障害に対する社会的な関心が高まっていることが影響していると思われる。とはいえ様々な研究報告を総合すると、本学のような男子学生の多い工科大学における発達障害の有病率は 5%（170 人）を超える可能性もあり、当センターにて診断がついているのは氷山の一角だと考えられる。

表 3 メンタルヘルス相談学生の ICD-10 診断（主診断）

ICD 分類	診断分類	人数（名）	備考
F2	統合失調症圏	4	
F3	気分障害	10	うつ病、双極性障害など
F4	神経症性障害	49	適応障害、不安障害など
F5	生理的障害	6	睡眠障害、身体表現性障害など
F6	人格・行動障害	0	
F8	心理発達の障害	19	自閉スペクトラム症
F9	小児期・青年期の 行動・情緒の障害	8	注意欠如多動性障害（ADHD）
G40	てんかん	5	
ICD-10 コードなし		86	不登校、アパシー、対人関係の悩みなど
実人数		187	

(4) メンタルヘルス相談学生への対応

大部分を占める「ICD-10 コードなし」の事例に対しては、その相談内容に応じて臨機応変に対応をしている。例えば、「身近な教員や学生との軽度の対人トラブル」に対しては、当該教員や学生と連絡をとった上で仲裁役に入ったり、適切な関係者に環境調整をして頂いたりといった対応をし、「正常範囲内の自身の性格についての悩み」に対しては、相談者の悩みに共感しつつ、その背後にある成長欲求への気づきを促すといったカウンセリング的な対応をしている。このように、ICD-10 による診断がつかない事例だからといって対応が容易というわけではなく、むしろ、こうした事例こそ臨機応変で手間のかかる対応が求められるのが実情である。その他、ICD-10 による診断がつく事例に対しては、基本的には診断結果と重症度を鑑みて対応している。具体的には、統合失調症圏、双極性気分障害、反復性または重症のうつ病、てんかんに対しては、必要に応じて紹介状を作成し、専門医への受診を勧奨している。

単一の診断名としては最多を占める適応障害に対しては、不安や抑うつ症状が特に著しくない限り、広い意味での環境調整によって対応している。例えば、研究室における指導教員との対人関係ストレスが契機になっていると判断される場合には、速やかに指導教員と連絡をとって理解を得た上で、学生にはしばらく自宅療養をとってもらい、その間に研究指導のやり方を修正したり、研究活動における負担を軽減したりするなどの措置をとっている。その他、不安障害（全般性不安障害、パニック障害、社交不安障害など）に対しては、筆者の専門である森田療法と認知行動療法のエッセンスを活用した面接を主体とし、薬物療法が必要と判断された場合には専門医のもとでの併診を勧奨している。

自閉スペクトラム症に対しては、薬物療法が必要と判断されるような著しい精神症状を認めない限り、適応障害のときと同様に広い意味での環境調整によって対応している。他方、注意欠如多動性障害に対しては、一度は専門医のもとを受診してもらい、薬物療法を受けるかどうかを検討してもらっている。その上で、薬物療法を受けるかどうかに関わらず、当センターでの面接を継続し、広い意味での環境調整によって対応している。

生活リズムの乱れに起因した睡眠障害に対しては、生活正規法のエッセンスを活用し、起床または登校トレーニングを実施している。また、必要に応じて研究室の指導教員にも協力を要請し、決まった時間に登下校したかどうかのチェックをしてもらうなどの措置をとっている。

また、全体的な面接のやり方については、個々の学生が困難を抱えている事項—学業、学外活動（アルバイトやサークル活動など）、人間関係など—に沿って、具体的な話をするように心がけている。メンタルヘルス相談というと、相談者の生活状況から切り離された感情（精神症状も含む）に焦点が当てられがちであるが、当センターにおいてはむしろ、相談者の感情と生活状況との結びつきを重視している。そして最終的には、相談者の背後にあるポジティブな感情を見出し、その感情に素直に従って適応的で建設的な生活を再構築してもらうことを目指している。

(5) 考察 ―スクリーニング面接の意義を再検討する―

予防医学の考えに従うと、大学生に対するメンタルヘルス支援は、一次予防、二次予防、三次予防の3つに大別される。最初の一次予防は、健康な学生がメンタルヘルス不調に陥るのを防ぐことである。ここには、「ホケカンだより」や講義を通じた啓蒙活動、さらには当センターのホームページを通じた情報発信なども含まれる。次の二次予防は、メンタルヘルス不調者の早期発見、早期介入・治療である。ここには、健康診断時のスクリーニングや授業欠席アラームシステム（注：学生が必修科目に3回欠席した場合に自動的にチューター教員に連絡が入るシステム；本学では平成25年度から導入されている）などが含まれる。最後の三次予防は、すでにメンタルヘルス不調に陥った学生への支援である。ここには、専門医への受診勧奨、学内での環境調整、当センターでの継続面接などが含まれている。

さて、大学生に対するメンタルヘルス支援という観点からは、「心の健康の保持増進」を目的とした一次予防が、他の予防とは一線を画すような突出した重要性をもっている。というのも、メンタルヘルス不調者の早期発見や早期介入を行うのも、メンタルヘルス不調に陥った学生を支援するのも、「全学生の心の健康の保持増進」を実現させるため手段に過ぎないからである。このように考えると、二次予防として当センターで行っている PHQ-9 を用いたスクリーニング面接が、果たして「全学生の心の健康の保持増進」という目的に適っているのかどうかについて、改めて再検討が必要だと思われる。

こうしたスクリーニング面接の問題点としては、以下のようなものが挙げられる。

① 呼出しに応じない学生が多い

平成28年度および平成29年度を通じて、呼出し基準を満たした学生は全部で162名いたが、頻回にわたる個別の丁寧な連絡にも関わらず、呼出しに応じたのは52%にあたる84名にとどまっていた。後に判明したことだが、呼出しに応じない（応じられない）学生ほど、下宿先などに引きこもって大学に通っていないなど、深刻な生活上の問題を抱えていることが多い。すなわち、実際に支援を必要としている学生ほど面接に繋がりにくい、という皮肉な実情がある。

② 呼出しに応じた学生でも継続的な面接フォローには繋がりにくい

平成28年度および平成29年度を通じて、何らかの精神疾患の病名がつくか疑われる者は、呼出し面接に応じた者の17%にあたる14名に過ぎず、残りの大多数は言わば「メンタルヘルス不調未満」の状態にある。本来であれば、こうしたメンタルヘルス不調未満の学生ほど、きちんと継続的な面接を受け、セルフケアや適応能力の向上に繋げることの意義は大きい。しかし残念なことに、呼出しの対象となった学生の継続面接に対する動機づけは極めて低く、最終的に継続的なフォローに繋がるのは数名に留まっている。

③ スクリーニング面接の実施自体がメンタルヘルスケアに対する無関心や否定的態度を助長してしまっている恐れがある

実はこれこそが最大の問題点だと思われるが、呼出しの対象とならなかった圧倒的大多数の学生にとって、スクリーニング面接は何ら有意義なメンタルヘルス支援になっていないどころか、否定的な印象を与えているだけの可能性がある。これはスクリーニング面接を実施している過程で学生から教わったことだが、大多数の学生にとって、スクリーニングのための心理検査は「呼出される可能性のある面倒なアンケート調査」といった否定的な印象しか持たれておらず、中には呼出しを避けるために意図的に回答を歪めている学生すら存在するのが実態である。

以上のようにスクリーニング面接は、「全学生の心の健康の保持増進」という目的に適っているとは言い難い。そこで当センターとしては、この目的を直接達成すべく、一次予防としての新たなメンタルヘルス支援のあり方を模索している。その内容として次の2つを考えている。

まず1つは、これまでのような呼出し面接ではなく、もっと多くの学生が自発的に自身のメンタルヘルス状態をチェックできるようなシステムを構築する、というものである。具体的には、学生が自ら当センターを訪れ、自ら心理検査を受け、その結果について精神科医から個別にフィードバックが受けられるようなシステムである。このようなシステムを普及させることにより、学生が主体的にセルフケアや適応能力の向上に取り組めるようになることが期待できる。

そしてもう1つは、メンタルヘルス教育を通じて、学生が自身の心の健康を自ら保持増進できるようになってもらう、というものである。筆者はこのような能力を「メンタルヘルスリテラシー」と名づけ、こうした能力を身につけてもらうための授業を教育活動の一環として行っている。具体的には、筆者が担当している「メンタルヘルス論」の授業（半期・90分×14回）において、(1)「健康な心」について具体的で明確なイメージをもてるようになる、(2)「健康な心」を実現するための方法を理解・実践できるようになる、という2つの目標を掲げて講義や演習を行っている。

こうしたメンタルヘルスリテラシー教育を行うためには、その基礎となるべく「健康な心の有り様とその実現方法」に関する理論が必要となる。筆者は、森田療法、認知行動療法、対人関係療などの様々な精神療法の背景にある「健康な心に関する洞察」を抽出・統合することにより、「自然人間学」と自ら名づけた基礎理論を構築し、それを基礎としてメンタルヘルスリテラシー教育のプログラムを作成している。

いずれにしても、他の精神科医療機関にはできないような、「学生の心の健康の保持増進」という目的に適ったメンタルヘルス支援を今後も展開していく方針である。

(文責 田所重紀)

カウンセリング報告

前回報告時点の 2015 年度までと今回の報告年度である 2016 年度以降では精神科医師の交代に伴いカウンセリングの位置付けおよび運用について若干の違いが生じているため、その点の解説を踏まえ報告を行うこととする。

というのは、2014 年度をもって三浦医師が退任され、その後 2015 年の年度途中で田所医師が赴任されるといった、精神科医師の交代があったためである。2016 年度から本格的に田所医師がイニシアチブを取られたことにより、様々な相談内容の中からカウンセリングの適用と判断される学生を絞り込んで紹介されることとなった。

2015 年度以前では、発達障がいもしくは精神疾患の可能性がある場合、診断に関わる検査を行ったり、不適応感から将来への不安が強い学生に対して職業適性検査等を行い、そういった検査結果をもとに精神科医が当該学生へコンサルテーションを行うという形式が多く取られていた。

一方、2016 年度からは精神面の相談の場合、まず田所医師が診察を行い、生活指導が必要な場合（生活リズムの乱れ等）の場合には内科医が指導を担当し、心理的問題で発達障がいもしくは精神疾患が問題の中核ではなく感情の吐露や自己内省が重要な場合にカウンセリングにつなぐ。また、発達障がいや精神疾患が中核であると疑われる場合には外部の医療機関に紹介し対応を依頼した上で、尚且つ学内においてもカウンセリングの必要性がある場合に当センターでカウンセリングを行う。

つまり、大学生活における支障や本人の精神状態の不安定の原因のうち、精神科医療の範囲は外部医療機関に依頼し、本人の内的葛藤ないしは発達課題であると判断される範囲について当センターのカウンセリングで対応する、といったことが精緻化される運びとなったのである。

そのような運用に伴い、カウンセリングルーム利用者数は減じたものの、本人の抱える問題に合わせて時間をたっぷり取って「自己理解」と「現実的問題解決」に取り組めるようになったという感触をカウンセラーは感じている。

そのように「本当にカウンセリングを必要とする人にカウンセリングを…」という流れが精緻化するにつれて改めて見えてきた特徴について報告したいと思う。

このたび、2016 年度と 2017 年度においてカウンセリングを行った 25 名について分析を行ったところ、25 名中発達障がいの診断を受けている学生が 2 名(8%)、診断を受けてはいないものの対人関係やコミュニケーションの問題を継続して抱えている学生が 7 名(28%)、精神疾患の既往もしくは通院中の学生が 9 名(36%)、過去において不登校経験のある学生が 4 名(16%)、家族に発達障がいもしくは精神疾患あるいは自殺といった既往がある学生が 9 名(36%)であった。これらは基本的に学生が自発的に語る内容において把握された事象であ

り、項目全てについて必ず確認を行った訳ではないので、実数はもっと多い可能性があるにも関わらず、かなり高いパーセンテージとなっている(下表参照)。

	実人数 (人)	延べ面談 回数 (回)	発達障害がい の診断有 人 (%)	対人関係・コミ ュニケー ションの問題 人 (%)	精神疾患の 既往又は通 院中 人 (%)	不登校経験 人 (%)	家族に発達 障害がい・精 神疾患等 人 (%)
2016年度	14	167	1 (7.0%)	6 (42.9%)	4 (28.5%)	3 (21.4%)	7 (50.0%)
2017年度	15	117	1 (6.7%)	2 (13.3%)	5 (33.3%)	2 (13.3%)	4 (26.7%)
合計	25	284	2 (8.0%)	7 (28.0%)	9 (36.0%)	4 (16.0%)	9 (36.0%)

これらの事柄が自立的な学生生活を営んでいく上でリスク要因となっている可能性は否めない。

特に普段の学生生活でなかなか話題に上ることのない「家族の精神状態・社会的適応状態」が、友達や指導教官にもなかなか話せず、「開けてはいけないパンドラの箱」の如く一人で抱えている内に学生自身の精神に重くのしかかっている場合があることを学生に携わる人間は知っておくべきではないかと思う。

カウンセリングを希望した学生の中に、家族に精神疾患等があって関係性が難しかったという生活史を持った学生が卒業年度後半になって相談に訪れるケースが複数あった。

学生生活は自力で頑張ってきて、就職も決まり、社会へ旅立つ直前になって、自分の足元が崩れるような不安感に襲われて来所するケースである。

いよいよ社会人となる時、不安になるのはどの学生にもあることかもしれない。

しかし更に家族との関係性にサポータティブなものを持てずに来た学生は、社会人としての行動や価値観のモデルを家族から得ることができず、そういったモデルを有さずに社会に出て行くことに対しより不安になる傾向が強いと考えられた。

そういった学生がカウンセリングにおいて家族との関係性を振り返り、家族各々を一個の人間として位置付け直し、一方自分が構築してきた価値観や行動様式、人間性等を確認することで自己を把握し、今後の人生も自分が選択し作っていくのだという覚悟を決めなおすことで、しっかりと顔を上げて卒業していった学生が何人もいる。

彼らに心からのエールを送りたい。

そのような「自己理解を深め、自分の尊厳を大切に人生の旅路を歩む」ためのサポートの場として保健管理センター・カウンセリング室が存在できれば幸いである。

(記：室蘭工業大学保健管理センターカウンセラー 臨床心理士 水上 志子)

Ⅲ. 職員の健康管理

職員の健康診断実施状況

(平成28年度)

検 査 項 目		対 象	対象者数	該当者数	受診者数	受診率
聴 力 検 査	1000Hz	全 職 員	402	358	283	79.1%
	4000Hz	全 職 員	402	358	283	79.1%
胸 部 X 線 検 査		全 職 員	402	358	281	78.5%
血 圧		全 職 員	402	358	285	79.6%
貧 血 検 査		35歳および40歳以上	266	223	177	79.4%
肝 機 能 検 査		35歳および40歳以上	266	223	177	79.4%
血 中 脂 質 検 査		35歳および40歳以上	266	223	177	79.4%
血 糖 検 査		35歳および40歳以上	266	223	177	79.4%
尿 検 査	糖	全 職 員	402	358	284	79.3%
	蛋白	全 職 員	402	358	284	79.3%
心 電 図 検 査		35歳および40歳以上	266	223	177	79.4%
V D T 検 査	1回目	全 職 員	385	385	294	76.4%
	2回目	全 職 員	383	383	244	63.7%

(平成29年度)

検 査 項 目		対 象	対象者数	該当者数	受診者数	受診率
聴 力 検 査	1000Hz	全 職 員	382	342	268	78.4%
	4000Hz	全 職 員	382	342	268	78.4%
胸 部 X 線 検 査		全 職 員	382	342	261	76.3%
血 圧		全 職 員	382	342	266	77.8%
貧 血 検 査		35歳および40歳以上	277	239	188	78.7%
肝 機 能 検 査		35歳および40歳以上	277	239	184	77.0%
血 中 脂 質 検 査		35歳および40歳以上	277	239	184	77.0%
血 糖 検 査		35歳および40歳以上	277	239	184	77.0%
尿 検 査	糖	全 職 員	382	342	265	77.5%
	蛋白	全 職 員	382	342	265	77.5%
心 電 図 検 査		35歳および40歳以上	277	239	184	77.0%
V D T 検 査	1回目	全 職 員	367	384	259	67.4%
	2回目	全 職 員	367	380	240	63.2%

※1 一般健康診断該当者数は、対象者数から人間ドック受診者を除いた数。

※2 H28年度人間ドック受診者44名(うち35歳及び40歳以上43名)

H29年度人間ドック受診者40名(うち35歳及び40歳以上38名)

※3 VDT検査は年2回実施。

○職員の健康診断

・職員数は平成28年度402名、平成29年度382名である。

・職員の健康診断内容は、聴力、胸部X線、血圧、血液一般、肝機能、血中脂質、血糖、ペプシノーゲン検査、尿、心電図検査である。希望者については便潜血検査も実施している。また、VDT検査は事前の問診アンケートから作業区分に応じて実施している。

・職員の定期健康診断は外部委託で6月と12月にそれぞれ2日間、もしくは人間ドックにより実施している。VDT健診は定期健康診断と併せて年2回(6月と12月)実施している。

IV. 保健管理センター行事

保健管理センター年間主要行事

平成28年度・29年度の学内、学外における主要行事及び参加状況は下記のとおりである。

●平成28年度

月	日	行事名	摘要
4	6	入学宣誓式	
	7～8	新入生オリエンテーション	
		健康管理について 保健管理センター：佐々木 春喜	
		保健管理センター：田所 重紀	留寿都救護
	18～22	学生定期健康診断	大学会館
5		VDT障害予防教育（学生対象）	
	26	学生定期健康診断追加日（胸部X線間接撮影のみ）	大学会館
	下旬	①特別健康診断（放射性同位元素等取扱者対象）	
6	24	全国大学保健管理協会第9回総会	京都大学
7	1	平成28年度全国大学保健管理協会北海道地方部会総会	北海道大学
	9～10	第63回北海道地区大学体育大会（バレーボール）	救護
8	6	オープンキャンパス	救護
	18～19	第54回全国大学保健管理協会北海道地方部会研究集会	北海道大学
10	5～6	第54回全国大学保健管理研究集会	大坂大学
	7	平成28年度国立大学法人保健管理施設協議会総会	
	15	第52回室蘭工業大学学長杯争奪中学・高等学校柔道大会	救護
	下旬	②特別健康診断	
11	15	定期健康診断（秋季入学者対象）	
12	9～11	第38回全国大学メンタルヘルス学会	一橋大学
1	14～15	大学入試センター試験	救護
2	下旬	③特別健康診断	
	25	入学試験（個別学力試験）	救護
3	16～17	第19回フィジカルヘルスフォーラム	長崎大学
	23	学位記授与式	

●平成29年度

月	日	行事名	摘要
4	5	入学宣誓式	
	6～7	新入生オリエンテーション	
		健康管理について 保健管理センター：佐々木 春喜	留寿都救護
		保健管理センター：田所 重紀	
	24～28	学生定期健康診断	大学会館
5		VDT障害予防教育（学生対象）	
	16	学生定期健康診断追加日（胸部X線間接撮影のみ）	大学会館
	下旬	①特別健康診断	
6	20	全国大学保健管理協会第11回総会	京都大学
	30	平成29年度全国大学保健管理協会北海道地方部会総会	北海道大学
7	1～2	第64回北海道地区大学体育大会（バレーボール）	救護
8	5	オープンキャンパス	救護
9	6～7	第55回全国大学保健管理協会北海道地方部会研究集会	北見工業大学
	30	第53回室蘭工業大学学長杯争奪中学・高等学校柔道大会	救護
10	上旬	②特別健康診断	
11	14	定期健康診断（秋季入学者対象）	
	29～30	第55回全国大学保健管理研究集会	琉球大学
12	1	平成29年度国立大学法人保健管理施設協議会総会	
	14～15	第39回全国大学メンタルヘルス学会	愛知教育大学
1	13～14	大学入試センター試験	救護
2	25	入学試験（個別学力試験）	救護
3	15～16	第20回フィジカルヘルスフォーラム	京都大学
	23	学位記授与式	

A E D講習会

平成 28・29 年度も A E D講習会を毎回 70 分の時間で下表のとおり実施した。
また、講習会終了後にアンケートの実施も行った。

《平成28年度》 参加者数

- ・第 1 回 (5 月 17 日) … 3 名
- ・第 2 回 (10 月 25 日) … 4 名
- ・第 3 回 (11 月 16 日) … 6 名
- ・第 4 回 (12 月 6 日) … 3 名

合計 15 名

講 師 : 佐々木 春喜 (保健管理センター所長)

参加者 : 学 生 (学部生…9名/大学院生…1名/研究生等…0名)

教職員 …5名

《平成29年度》 参加者数

- ・第 1 回 (5 月 30 日) … 4 名
- ・第 2 回 (6 月 27 日) … 4 名
- ・第 3 回 (7 月 25 日) … 0 名 中止
- ・第 4 回 (10 月 24 日) … 10 名
- ・第 5 回 (11 月 15 日) … 6 名
- ・第 6 回 (12 月 5 日) … 4 名

合計 28 名

講 師 : 佐々木 春喜 (保健管理センター所長)

参加者 : 学 生 (学部生…23 名/大学院生…0名/研究生等…0名)

教職員 …5 名



*保健管理センターの玄関内に設置されている AED です。

V. 研究実績

研究実績

【著書】

- 田所重紀, 「精神療法の哲学的基礎」『ワードマップ 心の哲学 新時代の心の科学をめぐる哲学の問い』p. 258-265, 新曜社, 2017 年 7 月

【研究論文】

- 田所重紀, 入院治療における「森田人間学に基づく精神療法」の試み, 日本森田療法学会誌, 第 27 巻, 第 2 号, 153-160, 2016 年 10 月.
- Tadokoro S, Nonomura N, Kanahara N, Hashimoto K, Iyo M. Reduction of Severity of Recurrent Psychotic Episode by Sustained Treatment with Aripiprazole in a Schizophrenic Patient with Dopamine Supersensitivity: A Case Report. Clinical Psychopharmacology and Neuroscience 15(1): 79-81; 2017 Feb.

【研究発表】

- 第 32 回 Philosophy of Psychiatry & Psychology 研究会, 2016 年 4 月 29 日, 東京. 「脳の障害」としての精神疾患は存在しない. 田所重紀. (口演)
- 科学基礎論学会 2016 年度総会, 2016 年 6 月 18・19 日, 埼玉. 精神疾患は脳の障害ではない—「空脳論」の観点から. 田所重紀. (口演)
- 第 5 回千葉県臨床精神病理ワークショップ, 2016 年 7 月 9 日, 千葉. 「空脳論」の観点から精神医学を再考する. 田所重紀. (口演)
- 第 34 回 Philosophy of Psychiatry & Psychology 研究会, 2016 年 7 月 10 日, 東京. 「空脳論」への道 (第二報) —「心の働き」は「身体活動」に他ならない. 田所重紀. (口演)
- 第 34 回日本森田療法学会, 2016 年 11 月 25・26 日, 東京. 森田人間学に基づくメンタルヘルスリテラシー教育の試み (第二報) —効果研究の結果と考察. 田所重紀. (口演)
- 第 113 回日本精神神経学会学術総会, 2017 年 6 月 22~24 日, 名古屋. 精神療法から創る新しいメンタルヘルスの基礎理論. 田所重紀. (口演)
- 第 6 回千葉県臨床精神病理ワークショップ, 2017 年 7 月 9 日, 千葉. 強迫性障害から回復するということ. 田所重紀. (口演)
- 第 35 回日本森田療法学会, 2017 年 11 月 11・12 日, 熊本. 自閉スペクトラム症をもつ大学生に対する自然人間学的アプローチの有用性. 田所重紀. (口演)

【その他の研究活動】

- 田所重紀：Schizophrenia Clinical Meeting in 室蘭.
講演「内服神話からの脱却—23 症例から見えてきたこと」講師．2016 年 4 月 5 日
- 田所重紀：第 13 回 DS-Conference in Sapporo.
講演「新たなブロナンセリンの活用法」講師．2016 年 4 月 23 日
- 田所重紀：大日本住友製薬株式会社札幌支店 社内研修会
講演「ドパミン過感受性精神病入門」講師．2016 年 6 月 6 日
- 田所重紀：平成 28 年度室蘭工業大学教員免許状更新講習.
講義「森田人間学に基づくメンタルヘルスリテラシー」講師．2016 年 9 月 3 日
- 田所重紀：北海道胆振総合振興局 平成 28 年度メンタルヘルスセミナー(管理職員対象)
講演「メンタルヘルス不調—その理解と対応」講師．2016 年 9 月 27 日
- 田所重紀：札幌市民講座「心の健康セミナー：森田療法に学ぶ人間成長」
講演「森田療法入門」講師．2016 年 10 月 22 日
- 田所重紀：2016 年度 第 5 回 北海道森田療法セミナー.
講演「自然人間学への道—モラリスト・教育者としての森田正馬先生からの贈り物」
講師．2017 年 1 月 28 日
- 田所重紀：生活の発見会 北海道地区懇談会.
講演「私の森田療法観」講師．2017 年 3 月 20 日
- 田所重紀：第 2 回 長崎 DSP 研究会
講演「ドパミン過感受性からみたアリピプラゾール」講師．2017 年 5 月 19 日
- 田所重紀：千歳病院講演会
講演「心の健康に役立つ森田療法」講師．2017 年 6 月 6 日
- 田所重紀：平成 29 年度室蘭工業大学教員免許状更新講習.
講義「自然人間学に基づくメンタルヘルスリテラシー」講師．2017 年 7 月 22 日
- 田所重紀：室蘭警察署 少年補導員向け講習
講演「活術としてのメンタルヘルス相談」講師．2017 年 9 月 20 日
- 田所重紀：帯広市民講座「心の健康セミナー：生活・仕事に役立つ森田療法」
講演「心の健康に役立つ森田療法」講師．2017 年 10 月 7 日
- 田所重紀：精神科医療を考える会
講演「ドパミン感受性安定薬としてのアリピプラゾール」講師．2017 年 10 月 21 日
- 田所重紀：千葉大学医学部附属病院精神神経科クルーズ
講演「ちょっといいかも！？森田療法」講師．2017 年 12 月 1 日
- 田所重紀：市民公開講座「心の健康セミナー：森田療法の 100 年」
講演「森田療法から革新的な『メンタルヘルスの基礎理論』を創る！」講師．
2018 年 1 月 20 日
- 田所重紀：ドパミン過感受性を考える会
講演「ドパミン過感受性への対応を考える」講師．2018 年 2 月 3 日

- 佐々木春喜 函館中央病院モーニングレクチャー 函館中央病院
「診断のプロセスとエラー」講師、2016 年 8 月 13 日
- 佐々木春喜 平成 26 年度北海道地区学生指導研修会 北海道大学
「救急疾患の応急処置」講師、2016 年 8 月 26 日
- 佐々木春喜 八雲総合病院安全衛生教育研修会 八雲総合病院
「職場の安全衛生とストレスチェックー産業医の立場からー」講師、2015 年 3 月 7 日
- 佐々木春喜 函館中央病院モーニングレクチャー 函館中央病院
「診断推論ーシャーロック・ホームズに学ぶー」講師、2017 年 6 月 3 日
- 佐々木春喜 平成 29 年度室蘭工業大学安全講習会 室蘭工業大
「AED を使用した心肺蘇生法」講師、学 2017 年 7 月 21 日
- 佐々木春喜 八雲総合病院安全衛生教育研修会 八雲総合病院
「自分で考える健康管理」講師、2018 年 2 月 8 日

VI. 職 員

員

平成28年度 保健管理センター職員

所 長	(教授・内科)	佐々木 春喜
准教授	(精神科)	田所 重紀
技術職員	(保健師)	笹田 好恵
非常勤職員	(カウンセラー)	水上 志子
事務補佐員		木戸 佳奈(~H29.3月)

事務関係職員

学生室 小林 和宏
(学生室ユニットマネージャー)
西畑 寿幸(～H28.6月)
(学生室コーディネーター)

厚生ユニット 津川 貴裕
(厚生ユニットリーダー)

成谷 道生(H28.4月～)

※H28.7月～事務組織再編後

学生支援係 境 謙
(学生支援係主任)
塩崎 泰子

職員健康管理

総務グループ 玉田 邦彦(H28.4月～)
(総務グループ マネージャー)

※H28.7月～事務組織再編後

経営企画課	辻 賢司(課長)
人事労務室	久米 繁輝(室長)
職員ユニット	宮下 慎也 (職員ユニットリーダー)
	田嶋 学
	利田 大輝(~H28.6月)
	魚津 武利 (H28.11月~H29.3月)

※H28.7月～事務組織再編により所属名称変更

旧		新
学生室	→	学務課 学生支援係
学生室ユニットマネージャー	→	学務課長
厚生ユニット	→	学務課 学生支援係
厚生ユニットリーダー	→	学務課係長(学生支援係)
職員ユニット	→	人事労務室 労務管理係
職員ユニットリーダー	→	人事労務室係長

平成29年度 保健管理センター職員

所 長	(教授・内科)	佐々木 春喜(～H30.3 月)
准教授	(精神科)	田所 重紀
技術職員	(保健師)	笹田 好恵
非常勤職員	(カウンセラー)	水上 志子
事務補佐員		竹岡 紀子(H29.4 月～)

事務関係職員

学務課	小林 和宏 (学務課長)
学生支援係	津川 貴裕(~H29.9 月) (学生支援係長)
	宮下 慎也(H29.10 月~) (学生支援係長)
	境 謙 (学生支援係主任)
	成谷 道生

職員健康管理

経営企画課	辻	賢司(課長)
人事労務室	久米	繁輝(室長)
労務管理係	宮下	慎也(~H29.9 月) (労務管理係長)
	依藤	充明(H29.10 月~) (労務管理係長)
	青木	要(H29.4 月~)
	田嶋	学(~H29.9 月)
	遠藤	仁郎(H29.10 月~)

保健管理センター歴代所長

初代所長	教授	田中 豊典	(昭和46年 4月10日～昭和56年 4月 1日迄)
	教授	荒川 卓	(昭和56年 4月 2日～昭和56年11月 1日迄)
	教授	古屋 統	(昭和56年11月11日～昭和62年 3月31日迄)
	教授	尾崎 昶	(昭和62年 4月 1日～昭和62年10月16日迄)
	教授	小野 功一	(昭和62年10月16日～平成 3年 5月16日迄)
	教授	齋藤 巖	(平成 3年 5月16日～平成17年 3月31日迄)
	教授	板倉 賢一	(平成17年 4月 1日～平成18年 1月31日迄)
	教授	小幡 英二	(平成18年 2月 1日～平成20年 3月31日迄)
	教授	丸山 博	(平成20年 4月 1日～平成21年 3月31日迄)
	教授	空閑 良壽	(平成21年 4月 1日～平成23年 3月31日迄)
	教授	佐々木 春喜	(平成23年 4月 1日～平成30年 3月31日迄)
	教授	溝口 光男	(平成30年 4月 1日～現在に至る。)



室蘭工業大学保健管理センター

〒050-5855 北海道室蘭市水元町27番1号

TEL (0143) 46-5855

FAX (0143) 46-5850

ホームページ <http://www.muroran-it.ac.jp/medic/>

編集後記

平成 30 年 9 月よりこちらに勤務させて頂いております。

初めて大学の保健管理センターという場で、働かせて頂くことになり、窓口としてどう接したらいいのか最初は、戸惑うこともありました。先生方はじめ保健師さんの学生さんや職員の方々に対してとても温かく対応されていて、私もそのように対応できるようになりたいと強く感じました。不慣れな私にも優しくご指導、お力添えくださり、感謝申し上げます。これからもよろしくお願いいたします。学生さんに安心して利用して頂けるよう努めていきたいと思います。(進藤)

平成 27 年 7 月より田所医師が赴任され 3 年を過ぎましたが、昨年 3 月一杯で前センター長の佐々木医師が御退職され、今年度は医師 1 名態勢で運営させていただいております。佐々木医師には 10 年間当センターにご尽力いただきました。その内 7 年間で共に過ごさせていただき、ご指導いただけたことは大変光栄でした。溝口先生をセンター長としてお迎えし、新たな雰囲気以学生さんや教職員の方々に対応させていただいた 1 年でしたが、これからも利用しやすい保健管理センターであるよう努めていきたいと思います。

最後に、本号の発行についてのご協力を含め日頃より大変お世話になっておりますセンター長はじめ関係教職員の皆様方に心より御礼申し上げます。(笹田)

室蘭工業大学保健管理センター年報 第 34 号

(平成 28・29 年度)

発行年月	平成 31 年 3 月
発行・編集	室蘭工業大学保健管理センター 〒050-5855 室蘭市水元町 27 番 1 号 TEL (0143)-46-5855 E-mail hac@mmm.muroran-it.ac.jp
印刷所	株式会社 日光印刷 〒050-0082 室蘭市寿町 2 丁目 3 番 1 号 TEL (0143)-47-8308